

PMI.PMI-PBA.v2026-02-02.q116

試験コード : PMI-PBA
試験名称 : PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA)
認証ベンダー : PMI
無料問題の数 : 116
バージョン : v2026-02-02
ページの閲覧量 : 104
問題集の閲覧量 : 1160

<https://www.jpnsiken.com/shiken/PMI.PMI-PBA.v2026-02-02.q116.html>

質問: 1

開発中に発生する変更や問題が公開され、開発の過程で議論されるよう、開発者と製品所有者が常にコミュニケーションをとることができるようにするための最適なアプローチは次のうちどれですか？

- A. 反復
- B. 滝
- C. アジャイル
- D. 線形

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: <https://www.sealights.io/agile-testing/agile-testing-8-principles-7-challenges-and-how-to-master-them/>

質問: 2

新しい Web ベースのアプリケーションを大規模に実装してから最初の数週間で、重要なレポートが失敗しました。

さらなる調査の結果、作業員が本来使用されるべきでないフィールドを使用していたことが判明しました。この問題はテストでは確認されませんでした。

どのような技術を使えばこの問題の発生を防ぐことができたでしょうか？

- A. プロトタイピング
- B. 図
- C. ユースケース
- D. ドキュメント分析

正解: D ([コメントを发表する](#))

PMIビジネス分析ガイドによると、ユースケースとは、特定の目標を達成するためにアクターがシステムまたはプロセスとどのように相互作用するかを記述する手法です。ユースケースは、システムまたはプロセスの機能要件と期待される動作、例外、代替フローを捉えることができるため、新しいアプリケーションの実装における問題の発生を防ぐのに役立ちます。また、ユースケースは、あらゆるシナリオと結果を網羅するテストケースの設計と実行にも役立ちます。このケースでは、ユースケースによって、レポートの有効な入出力、システムまたはプロセスのアクションとレスポンスが規定されていたため、作業員が本来使用すべきでない

フィールドを使用してしまうという問題を回避できた可能性があります。プロトタイピング、ダイアグラム、ドキュメント分析も、要件の分析と伝達に役立つ手法ですが、システムまたはプロセスの相互作用と結果を詳細に記述できないため、新しいアプリケーションの実装における問題の発生を必ずしも防ぐことはできません。参考文献：PMIビジネス分析ガイド、165～166ページ。

質問: 3

プロセスをモデリングしたりタスクを分析するときに、次の点について質問することでビジネスルールを明らかにできます。

- A. 互いに重複するタスク。
- B. 順序どおりに実行されない可能性がある作業。
- C. 特定の行動方針を選択する理由。
- D. 組織のパフォーマンスを妨げるタスクの遷移。

正解: ([正解を表示します](#))

ビジネスルールとは、ポリシー、標準、手順、規制、制約など、ビジネスの側面を定義または制約するステートメントです。ビジネスルールは、プロセスのモデリングやタスクの分析時に、特定の行動方針を選択した理由を尋ねることで明らかにすることができます。特定の決定が行われた理由、使用されている基準、適用される条件、または予想される結果について尋ねることで、ビジネスアナリストは、プロセスまたはタスクの動作または結果を制御するビジネスルールを引き出すことができます。互いに重複するタスク、順序どおりに実行されない可能性のある作業、組織のパフォーマンスを妨げるタスクの移行について尋ねることは、プロセスまたはタスクにおける問題や改善の機会を特定するのに役立つ場合がありますが、それらの根底にあるビジネスルールは明らかにならない可能性があります。参考文献：

PMI プロフェッショナル ビジネス分析 (PMI-PBA) 試験内容概要 1、15 ページ; 実務者のためのビジネス分析: 実践ガイド 2、95 ページ。

質問: 4

ビジネスアナリストがオペレーションマネージャーと新しい測定システムの受入基準について話し合っています。オペレーションマネージャーは、データ測定の誤りを修正するのに多大なコストがかかる可能性があるため、新しいシステムの精度について特に懸念しています。適切な受け入れ基準を定義するための最適な戦略は次のどれですか？

- A. 測定エラーに関連するリスクを定量化し、リスク レジスタを更新します。
- B. 運用マネージャーに要件ドキュメントを正式に承認するよう依頼します。
- C. 新しいシステムを運用マネージャーに引き渡す前に、新しいシステムのトレーニング セッションを計画します。
- D. 新しいシステムの最大許容エラー率を明確に定義します。

正解: D ([コメントを发表する](#))

説明

PMIのビジネス分析ガイドによると、適切な受け入れ基準を定義するための最善の戦略の一つは、ソリューションのパフォーマンス指標と目標（精度 信頼性、可用性、効率性など）を明確に定義することです。これらの指標と目標は、ソリューションがステークホルダーのニーズと期待をどの程度満たしているか、そしてビジネス価値にどのように貢献しているかを評価するのに役立ちます。今回のケースでは、運用管理者は新しい測定システムの精度を懸念しているため、新しいシステムの最大許容エラー率を明確に定義することが適切な戦略となります。これは、ステークホルダーに受け入れられるためにシステムがどの程度の精度であるべきかを示すものです。測定エラーに関連するリスクを定量化したり、要件ドキュメントの正式な承認を求めたり、新しいシステムのトレーニングセッションを計画したりすることは、ソリューションのパフォーマンスをどのように測定または評価するかを規定していないため、適切な受け入れ基準を定義するための効果的な戦略ではありません。参考文献 :PMIのビジネス分析ガイド、316～317ページ。

質問: 5

ビジネスアナリストは、様々なユーザーグループとの複数回の会議を経て、大規模なITプロジェクトの要件を収集しました。次に、ビジネスアナリストは、開発チームが明確に理解でき、かつ要件が満たされているかどうかを確認するのに十分な情報を提供する形で、これらの要件を文書化する必要があります。

この場合、次のうちどれが最も効果的でしょうか？

- A. ユーザーストーリー
- B. 機能仕様
- C. フローチャート
- D. プロトタイピング

正解: ([正解を表示します](#))

説明

機能仕様は、システムまたは製品が機能、特徴、動作、入力、出力などに関して何をすべきかを記述する要件ドキュメントの一種です。機能仕様は、ビジネスアナリストが開発チームに明確に理解できる方法で要件を文書化し、要件が満たされているかどうかを確認するのに十分な情報を提供するのに役立ちます。機能仕様には、受け入れ基準、テストケース、データモデル、ユーザーインターフェース設計なども含まれます。参考文献 = PMIビジネスアナリスプロフェッショナル (PMI-PBA)

試験内容概要 (2019年)、10ページ ;ビジネス分析

実践者：実践ガイド (2015年)、39ページ。

質問: 6

要件がベースライン化された後にどのような変更を加えることができるかを正確に表す記述はどれですか？

- A. 要件は定義されたプロセスを通じて変更できます。
- B. 開発が開始されると要件を変更することはできません。
- C. ユーザー受け入れテストが開始されると、要件を変更することはできません。

D. 要件はスポンサーの承認がある場合にのみ変更できます。

正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

主な成果物はスコープ ベースラインであり、これは3つのドキュメント、すなわちスコープ・ステートメント プロジェクト要件と製品要件の両方を含む)、WBS、そしてWBS辞書で構成されます。これらがレビューされ、承認されると、スコープ ベースラインが作成されます。ベースラインが承認されると、変更は変更管理手順を通じてのみ行うことができます。スコープ ベースラインは、プロジェクトで実際に行われた成果と作業内容を、当初承認されたスコープと継続的に比較するために使用されます。

質問: 7

厳しいスケジュールに直面したプロジェクトスポンサーが、トレーサビリティアーティファクトを作成せずに開発を開始することをプロジェクトチームに提案した場合、ビジネスアナリストはどうすればよいでしょうか？

- A. トレーサビリティ項目なしで開発活動を開始します。
- B. 要件トレーサビリティの価値を説明します。
- C. トレーサビリティ成果物の削減されたセットの迅速な承認を交渉します。
- D. プロジェクトのトレーサビリティ活動を排除します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

説明

ビジネス アナリストは、要件トレーサビリティの価値をプロジェクト スポンサーに説明する必要があります。

要件トレーサビリティとは、要件、プロジェクト成果物、そしてビジネス目標間の関係性と依存関係を追跡し、文書化するプロセスです。要件トレーサビリティは、要件の品質、完全性、整合性を確保し、プロジェクト中に発生する可能性のある変更、リスク、そして問題を管理する上で役立ちます。また、ソリューションのパフォーマンスと価値を測定し、ソリューションの検証と妥当性確認を促進する上でも役立ちます。参考文献 PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要、20ページ；実務家のためのビジネスアナリシス：実践ガイド2、100ページ。

質問: 8

ビジネスアナリストは、関係者からの関連するフィードバックをすべてビジネス分析計画に組み込みました。

ビジネスアナリストは次にどのようなステップを踏むべきでしょうか？

- A. プロジェクトの実装を開始します。
- B. 要件の文書化を開始する
- C. 計画の承認を得る。
- D. 文書を安全に保管するために保存します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 9

A社のビジネスアナリストは、健康保険会社Bの新しい医療コード群の実装とテストを支援する3年間のプロジェクトに任命されました。ビジネスアナリストは、プロジェクトに参加する多くの関係者を特定しました。例えば、A社は要件定義とコーディングを行う技術スタッフを任命し、新機能のテストを行うテストチームを編成します。B社のシニアディレクターは、毎週の進捗状況報告を要求します。A社のプロジェクトマネージャーは、プロジェクト計画を作成し、会議のスケジュールを立て、議事録を作成します。

上記のシナリオでは、A社の技術スタッフとテストチームの役割は何でしょうか。

- A. 責任を負う
- B. 相談する
- C. 責任者
- D. 通知

正解: ([正解を表示します](#))

A社の技術スタッフとテストチームは、要件定義とコーディング、および新機能のテストを担当します。責任者」とは、作業または活動を実行するために個人またはグループが割り当てられていることを意味します。責任者の役割は、ステークホルダーの役割と責任を特定するためのツールであるRACIマトリックスにおいて、文字「R」で示されることがよくあります。参考文献: PMIビジネス分析ガイド、第4章、セクション4.3.2.3、PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要 ドメインII: 計画 タスク2。

質問: 10

A社のビジネスアナリストは、新しい商用ソフトウェア導入の要件を文書化し、特定するプロジェクトに任命されました。最初のステップは、ビジネス分析の成果物をアクティビティとタスクに分解することです。次に、ビジネスアナリストは作業完了に必要な時間を見積もることになります。

ビジネスアナリストはどのようなタイプの見積もり手法を使用していますか？

- A. デルファイ
- B. ボトムアップ
- C. 類似
- D. パラメトリック

正解: B ([コメントを發表する](#))

説明

ビジネスアナリストはボトムアップ見積り手法を用いています。これは、作業をより小さな要素に分解し、各要素に必要な時間とリソースを見積もる手法です。そして、それらの見積りを集計して、プロジェクト全体の見積りを算出します。ボトムアップ見積りは他の手法よりも正確で信頼性が高いですが、より多くの時間と労力を必要とします。(PMIビジネスアナリスト プロフェッショナル (PMI-PBA))

試験内容概要1、15 ページ; 実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド2、85 ページ。

質問: 11

ビジネスアナリストがプロジェクトの要件定義書の作成を試みているところ、開発者がすでに開発を開始していることに気付きました。ビジネスアナリストはまず、以下の点を促進すべきです。

- A. 利害関係者との要件収集ワークショップ。
- B. 顧客による要件の承認。
- C. テスターによる要件の検証。
- D. 顧客との要件承認。

正解: D ([コメントを发表する](#))

説明

要件承認とは、顧客やその他の関係者から要件の正式な承認と受諾を得るプロセスです。要件承認では、要件が明確、完全、正確、かつ一貫性があり、顧客のニーズと期待を満たしていることを確認します。また、要件承認は、ソリューションの開発とテストのベースラインを確立し、変更管理や問題解決のための参照点としても機能します。ビジネスアナリストは、開発者が開発を開始する前に、まず顧客との要件承認を促進する必要があります。これは、要件がすべての関係者によって合意され、検証されていることを確認し、プロジェクト後期における手戻り、遅延、および競合を回避するためです。参考資料: PMIビジネスアナリスiprofessionals (PMI-PBA)

検査

コンテンツ概要1、18 ページ; 実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド2、92 ページ。

質問: 12

ビジネスアナリストは、プロジェクトの主要なビジネスドライバーを明確にし、要件を優先順位付けしてビジネス価値を最大化したいと考えています。この明確化を実現するために、ビジネスアナリストはステークホルダーにどのような質問をすべきでしょうか？

- A. 組織図はどのように構成されていますか？
- B. どの機能領域が影響を受けますか？
- C. ビジネスニーズは何ですか？
- D. 最も影響力を持つ利害関係者は誰ですか？

正解: C ([コメントを发表する](#))

質問: 13

ビジネスアナリストがプロジェクトの要件定義書の作成を試みているところ、開発者がすでに開発を開始していることに気付きました。ビジネスアナリストはまず、以下の点を促進すべきです。

- A. 利害関係者との要件収集ワークショップ。
- B. 顧客による要件の承認。
- C. テスターによる要件の検証。
- D. 顧客との要件承認。

正解: D ([コメントを发表する](#))

要件の承認とは、顧客やその他の関係者から要件の正式な承認と受諾を得るプロセスです。要件の承認により、要件が明確、完全、正確、かつ一貫性があり、顧客のニーズと期待を満たしていることが確認されます。また、要件の承認は、ソリューションの開発とテストのベースラインを確立し、変更管理と問題解決の基準点としても機能します。ビジネスアナリストは、開発者が開発を開始する前に、まず顧客との要件の承認を促進する必要があります。これは、要件がすべての関係者によって合意され、検証されていることを確認し、プロジェクトの後期における手戻り、遅延、および競合を回避するためです。参考文献 :PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要1、18ページ、Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide2、92ページ。

質問: 14

ある企業は、提供されたソリューションに満足しており、使用開始から 3 か月間は苦情はほとんど聞かれなかったと報告しています。

ビジネスアナリストは、ソリューションがビジネスケースをどの程度満たしているかをどのように判断できるでしょうか？

- A. ユーザー調査を実施します。
- B. スポンサーにフィードバックを求めます。
- C. プロジェクトを調査します。
- D. 日常的なテスト (DITL) と統合テストの結果を比較します。

正解: A ([コメントを发表する](#))

説明

ユーザーサーベイは、ソリューションがビジネスケースをどの程度満たしているかを判断するために使用できる手法です。ユーザーサーベイは、ソリューションのエンドユーザーから満足度、好み、期待、ニーズ、問題、提案に関するフィードバックを収集する方法です。ユーザーサーベイは、ソリューションのパフォーマンス、品質、ユーザビリティ、価値を測定し、ビジネスケースで定義された期待されるメリットや成果と比較するのに役立ちます。また、ソリューションの改善または強化が必要な領域を特定するのに役立ちます。スポンサーにフィードバックを求めるだけでは、ソリューションがビジネスケースをどの程度満たしているかを判断するには不十分です。ソリューションに直接影響を受けるエンドユーザーの視点を捉えていないためです。プロジェクトサーベイは、ソリューションではなくプロジェクトマネジメントのプロセスとプラクティスに焦点を当てているため、このシナリオには適していません。DITL (Day-in-The-Life) テストと統合テストの結果を比較しても、導入後のエンドユーザーによるソリューションの実際の使用状況やエクスペリエンスを反映していないため、効果的ではありません。参考文献 :PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要1、14 ページ; 実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド2、80 ページ。

質問: 15

ビジネスアナリストは顧客向けのソリューションを実装中です。チームは特定の要件が満たされているかどうかを確認するのに苦労しています。この問題の原因は何でしょうか？

- A. テストエンジニアがチームに要件を適切に伝えていません。
- B. 要件の受け入れ基準は測定できませんでした。
- C. 要件抽出にすべての関係者が関与したわけではない
- D. 要件はプロジェクト スポンサーと十分に検討されていません。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 16

ある企業は、期限、コスト、スコープ内で大規模プロジェクトを完了し、高い品質基準とマーケティング要件を満たしました。しかし、投資収益率の低さから、株主と市場からその製品は完全な失敗とみなされました。

ビジネス分析の観点から見ると、このビジネスの失敗の主な原因は次の点でした。

- A. 製品の位置を設定します。
- B. 市場の期待を確認し評価します。
- C. 適切なユーザビリティ要件を収集します。
- D. ビジネス ケースで測定可能な成功基準を確立します。

正解: ([正解を表示します](#))

事業の失敗の主な原因は、ビジネス ケースで測定可能な成功基準を確立できなかったことです。成功基準とは、事業目標の達成度とプロジェクトの期待される利益を測定するために使用される標準または指標です。成功基準は、ビジネス ケースの関係者により定義され合意されるべきであり、具体的、測定可能、達成可能、現実的、期限付き (SMART) である必要があります。成功基準は、ビジネス アナリストとプロジェクト チームがプロジェクトの実現可能性、実行可能性、望ましさを評価し、プロジェクトのパフォーマンスと結果を監視および制御するのに役立ちます。また、成功基準は、プロジェクトの成果物が関係者の期待や市場のニーズと合致していることを保証するのに役立ちます。ビジネス ケースで成功基準が確立されていない、または適切に定義されていない場合、プロジェクトは時間、コスト、範囲、品質の制約を満たしていても、期待される価値と投資収益率を実現できない可能性があります。参考文献: PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要 1、16 ページ実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド2、86 ページ。

有効的な**PMI-PBA**問題集はJPNTTest.com提供され、**PMI-PBA**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**PMI-PBA**試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここで**PMI-PBA**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 17

ビジネスアナリストは要件抽出を開始する準備ができていますが、関係者が参加できるのはあと2週間後です。この期間中、ビジネスアナリストはどの抽出手法を用いるべきでしょうか？

- A. 費用便益分析
- B. ベンチマーク
- C. ブレインストーミング
- D. ドキュメント分析

正解: [\(正解を表示します\)](#)

説明

ビジネスアナリストは、この段階で文書分析を情報抽出の手法として活用する必要があります。文書分析とは、ポリシー、手順、標準、報告書、契約書などの既存の文書をレビューおよび分析し、ビジネスニーズ、要件、またはソリューションオプションに関する情報を引き出す手法です。文書分析は、関係者が参加できない場合や、ビジネスアナリストが関係者と関わる前に背景知識や状況を把握する必要がある場合に役立ちます。また、文書分析は、後で関係者と確認または検証する必要があるギャップ、問題、または前提を特定するのにも役立ちます。：PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要、12ページ、実践者のためのビジネス分析：実践ガイド2、51ページ。

質問: 18

ビジネスアナリストは、関係者からの関連するフィードバックをすべてビジネス分析計画に組み込みました。

ビジネスアナリストは次にどのようなステップを踏むべきでしょうか？

- A. 要件のドキュメント化を開始します。
- B. 計画の承認を得る。
- C. 文書を安全に保管するために保存します。
- D. プロジェクトの実装を開始します。

正解: B ([コメントを発表する](#))

説明

ビジネスアナリストがビジネス分析計画にステークホルダーからの関連するフィードバックをすべて取り入れた後、次に行うべきステップは、計画の承認を得ることです。ビジネス分析計画とは、プロジェクト全体を通してビジネス分析活動がどのように実施、管理、制御されるかを記述した文書です。ビジネスアナリストが要件の文書化または実装を開始する前に、主要なステークホルダーの承認を得る必要があります。承認プロセスにより、ステークホルダーはビジネス分析作業の範囲、アプローチ、成果物、役割、責任について合意することができます。計画の承認を得ずに要件の文書化を開始することは、ステークホルダー間の混乱、手戻り、または対立につながる可能性があるため、推奨されません。文書を安全な場所に保管することは、ステークホルダーへの計画の伝達や検証に役立たないため、生産的なステップではありません。計画の承認を得ずにプロジェクトの実装を開始することは、リソースの無駄、期待外れ、または成果の失敗につながる可能性があるため、現実的ではありません。参考文献：実践

者のためのビジネス分析：実践ガイド1』29～30ページ、PMIビジネス分析プロフェッショナル（PMI-PBA）
試験内容概要2、13ページ。

質問: 19

生産コスト削減のため、プロジェクトチームが編成されました。ビジネスアナリストはプロジェクトチームと連携し、要件の検討と承認に取り組んでいます。組立ライン部門の関係者は、要件の1つが今後6ヶ月以内に廃止予定の既存設備の使用に依存していることに懸念を抱いています。

ビジネスアナリストは、利害関係者によって特定された問題を管理し、それらの問題を確実に解決するために、どの手法を使用しますか。

- A. インタビュー
- B. 問題追跡
- C. プロセスモデリング
- D. 推定

正解: ([正解を表示します](#))

説明

説明/参考: <https://www.wisdomjobs.com/today-walkins>

質問: 20

製品バックログを管理する際に、バックログ項目の価値を決定する方法を最もよく説明している記述はどれですか。

- A. 関係者は推奨事項を提供し、最終決定権はプロダクトオーナーが持ちます。
- B. 利害関係者は価値ランキング基準に従います。
- C. 利害関係者は通常、主要な役割を果たしません。
- D. 利害関係者は、項目が最初に特定されたときに、バックログの値についての入力を提供します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

価値ランキング基準とは、バックログ項目の価値を評価し、優先順位を付けるために使用される一連の要素または尺度です。価値ランキング基準には、ビジネス目標、メリット、コスト、リスク、依存関係、緊急性などが含まれます。ステークホルダーは、プロジェクトのビジョンと目標との整合性に基づいて、価値ランキング基準に従ってバックログ項目の価値を決定します。ステークホルダーは、MoSCoW分析や加重ランキングマトリックスなどの手法を用いて価値ランキング基準を適用することもできます。参考文献 = PMIビジネスアナリストプロフェッショナル（PMI-PBA）

試験内容概要（2019年）、11ページ ;ビジネス
分析実務家のための実践ガイド（2015年）、66ページ。

質問: 21

プロジェクトの要件抽出が進行中です。マーケティング、調達、製造部門はそれぞれ具体的な要件を盛り込みたいと考えています。CEOは3ヶ月以内に導入することを要求しています。次のアクションのうち、プロジェクトの成功に大きな影響を与えるものはどれでしょうか？

- A. 各ステークホルダーグループに関連付けられた相対的な力を理解することで、ステークホルダー分析を実施し、要件のバランスをとります。
- B. プロジェクトはより多くの人々に影響を与えるため、マーケティング部門の要件を優先して開発します。
- C. 各要件に必要な労力を見積もり、可能な限り多くの機能を開発します。
- D. CEOに状況を説明し、システムの開発に実際に必要な期間だけ契約を延長してもらいます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 22

プロジェクトマネージャーは、顧客とのテスト準備状況レビューの準備を開始しています。プロジェクトマネージャーは、顧客が却下または延期された要件の概要を希望していることを認識しています。

プロジェクトマネージャーは、ビジネスアナリストに、拒否された要件と延期された要件のリストを提供するように要求しました。

このリクエストを完了するためにビジネスアナリストは何を行うべきだったのでしょうか？

- A. システム要件検証マトリックスで拒否された要件を追跡します。
- B. 拒否数を追跡するための変更管理ボードを設定します。
- C. プロジェクトで拒否される要件の数を制限します。
- D. 拒否を減らすために、事前に要件を確認する時間を増やします。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 23

ビジネスアナリストは、新しい測定システムの受け入れ基準についてオペレーションマネージャーと話し合っています。データ測定の間違いを修正するには多大なコストがかかる可能性があるため、オペレーションマネージャーは新しいシステムの精度について特に懸念しています。

適切な受け入れ基準を定義するための最適な戦略は次のどれですか？

- A. 新しいシステムの最大許容エラー率を明確に定義します。
- B. 運用マネージャーに要件ドキュメントを正式に承認するよう依頼します。
- C. 新しいシステムを運用マネージャーに引き渡す前に、新しいシステムのトレーニングセッションを計画します。
- D. 測定エラーに関連するリスクを定量化し、リスクレジスタを更新します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 24

あるプロジェクトの主要なステークホルダーは、特定の要件が直近のリリース時に実装されなかったことを知り、驚いています。ビジネスアナリストは、そのステークホルダーに対し、要件のステータスが「延期」に変更されたことを伝えます。

ステークホルダーがステータスの変更に驚かないようにするにはどうすればよいでしょうか？

- A. トレーサビリティ マトリックスでステータスが更新されているはずです。
- B. プロジェクトの開始前にステータスを確認する必要がありました。
- C. ステータスはすべてのプロジェクト関係者に伝達される必要があります。
- D. ステータスは要件のソースに伝達される必要があります。

正解: B ([コメントを发表する](#))

質問: 25

ビジネスアナリストと関係者は、新しい車両リースデータベースの要件に関する受け入れ基準の文書化を完了しました。一部の主要業績評価指標では、導入によって期待される効果を検証できない可能性があるという懸念が生じています。

ビジネス ニーズを検証できるようにするには、ビジネス アナリストは何をすべきでしょうか。

- A. 仮定を文書化します。
- B. 制約を文書化します。
- C. 欠陥を文書化します。
- D. ビジネス ルールを文書化します。

正解: D ([コメントを发表する](#))

説明

ビジネスルールとは、ビジネスのある側面を定義または制約するステートメントであり、常に真または偽のいずれかに解決されます。ビジネスルールは、ビジネス構造を明示したり、ビジネスの動作を制御または影響したりすることを目的としています。ビジネスルールは、組織に適用される業務、定義、および制約を記述します。ビジネスルールは、組織内の人、プロセス、企業行動、およびコンピューティングシステムに適用でき、組織の目標達成を支援するために導入されます。ビジネスルールを文書化することで、ビジネスアナリストは、ビジネス業務と成果を規定する基準に照らしてビジネスニーズを検証できることを確認できます。参考文献：PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要1、19ページ、Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide2、97ページ。

質問: 26

プロジェクト開始から数か月後、ビジネスアナリストはコストが想定される利益を上回っていると判断しました。ビジネスアナリストは、製品をキャンセルせざるを得なくなる可能性のあるリスクに対処したいと考えています。

次の文書のうちどれを使用すべきでしょうか？

- A. ステークホルダー影響マトリックス

B. ビジネス分析計画

C. プロジェクト憲章

D. ビジネスケース

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ビジネスケースは、プロジェクトの根拠を示し、費用と便益の分析を含みます。これは、製品のキャンセルの可能性を含むリスクを評価するために使用されます。参考文献 :PMI-PBA

検査

コンテンツ概要、実務者のためのビジネス分析: 実践ガイド。

質問: 27

ビジネスアナリストは要件抽出ワークショップを終了しました。次に、各要件の根拠を定義する必要があります。

次の項目のペアのうち、どれが根拠に含めるのに重要ですか？

A. 理由と仮定

B. 製品のビジョンと運用上の関係

C. 利害関係者への影響と設計上の決定

D. 機能関係と作業分解構造コード

正解: ([正解を表示します](#))

説明

各要件の根拠とは、その要件が必要な理由と、それがどのようにビジネス目標をサポートするかを示す正当性または説明です。要件の背景にある理由と前提、そして要件に影響を与える制約や依存関係を含める必要があります。製品ビジョンと運用上の関係はビジネスケースの一部であり、根拠ではありません。ステークホルダーへの影響と設計上の決定は分析とソリューション評価の一部であり、根拠ではありません。機能関係と作業分解構造コードはソリューションのスコップとアーキテクチャの一部であり、根拠ではありません。参考文献 :PMIビジネスアナリスiprofessional (PMI-PBA)

試験内容概要、17 ページ; 実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド、113 ページ。

質問: 28

ビジネスアナリストは、プロジェクトの受け入れ基準の作成に取り組んでいます。社内のステークホルダーとの初期のコラボレーションにおいて、ビジネスアナリストは社内の複数のユーザーグループを特定しました。

「購入者」、「廃送者」、「顧客」、「代理店」これらのユーザーグループは、同様のニーズを持つ関係者を分類し、詳細な説明を作成します。

ビジネスアナリストは、ソリューションの受け入れ基準を評価するためにどの手法を使用しましたか？

A. ペルソナ分析

B. ステークホルダー分析

C. リスク分析

D. ジョブ分析

正解: A ([コメントを发表する](#))

質問: 29

新しいプロジェクトが特定されると、ビジネスアナリストはプロジェクトチームのメンバーと協力して、新しいシステムに何を含め、何を除外するかを定義します。ビジネスアナリストが定義したのは以下のどれですか？

- A. ソリューション設計
- B. ビジネスケース
- C. ビジネス要件
- D. ソリューションスコープ

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 30

プロジェクトチームは、要件の変更を把握するための文書管理プロセスとバージョン管理をすべて整備しています。チームは変更がスコープドキュメントに文書化され、作業内訳表 (WBS) とスケジュールが変更されていることを保証しました。しかし、リリースでは重要な要件が実装されていませんでした。

要件が実装されなかった理由として考えられるものは何ですか？

- A. 要件管理計画は変更によって更新されませんでした。
- B. スコープ管理計画は変更によって更新されませんでした。
- C. 要件トレーサビリティ マトリックスは変更によって更新されませんでした。
- D. スケジュール管理計画は変更によって更新されませんでした。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

要件トレーサビリティ・マトリックスは、要件をそのソース、目標、成果物にリンクさせるツールです。プロジェクトのライフサイクル全体を通して、各要件のステータス、変更、検証を追跡するのに役立ちます。要件トレーサビリティ・マトリックスが変更に合わせて更新されていない場合、実装時に重要な要件が見落とされたり、見落とされたりする可能性があります。他の方法では、この問題が発生する可能性は低いでしょう。要件管理計画は、要件の抽出、分析、文書化、検証、管理方法を記述した文書です。スコープ管理計画は、プロジェクト・スコープの定義、管理、検証方法を記述した文書です。スケジュール管理計画は、プロジェクト・スケジュールの策定、監視、管理方法を記述した文書です。参考資料：

PMI-PBA

試験内容概要、13ページ ;PMI-PBA

参考文献リスト、1ページ、BABOK

ガイドv3、

39ページ; 6.

質問: 31

ステークホルダーが既存の機能を変更したいと考えています。製品の変更範囲を決定するために、次のうちどれが使用されますか？

- A. プロジェクトスケジュールとコストベースライン
- B. 要件トレーサビリティマトリックス
- C. 要件属性テーブル
- D. シーケンス図

正解: B ([コメントを发表する](#))

要件トレーサビリティ・マトリクス (RTM) は、要件と製品機能の関係を追跡するのに役立つツールです。既存の機能の変更によって影響を受ける要件とテストケースを特定することで、変更要求の範囲を決定するために使用できます。プロジェクト・スケジュールとコスト・ベースラインは、製品機能とは直接関係がなく、むしろプロジェクト管理の側面と関係しています。要件属性表は、要件の分類と優先順位付けに役立つツールですが、要件と製品機能の関連性は示しません。シーケンス図は、製品のコンポーネント間の相互作用を示すのに役立つツールですが、要件のトレーサビリティは示しません。参考資料: PMI ビジネス分析 プロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要、PMI ビジネス分析 ガイド2、実践者のためのビジネス分析: 実践ガイド

有効的なPMI-PBA問題集はJPNTTest.com提供され、PMI-PBA試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新PMI-PBA試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここでPMI-PBA問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 32

ある組織は、現在のシステムの置き換えを進めています。ビジネスアナリストは、アップグレード後も他のシステムへの既存の接続がすべて機能し続けることを確認する責任を負っています。

移行を成功させるために、ビジネスアナリストはどのような分析を実施する必要がありますか？

- A. ドキュメント
- B. インターフェース
- C. ユーザーインターフェース
- D. システム

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 33

スポンサーが新たな要件を要求しました。ビジネスアナリストは、この要件に必要な情報のほとんどが未だ存在せず、実装できないと説明しました。ビジネスアナリストは、必要な情報が揃うまで要件を延期し、その後、後続のプロジェクトに追加することを提案しました。スポンサーはこれに同意しました。

ビジネスアナリストは次に何をすべきでしょうか？

- A. 要件が忘れられないように、完了としてマークします。
- B. 他のアクションを実行する前に、関係者に要件を確認するよう依頼します。
- C. この要件のステータスが変更されたことを伝えます。
- D. 後続のプロジェクトを変更管理委員会 (CCB) に持ち込みます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 34

要件の改訂を管理するプロセスを定義するドキュメントは次のとおりです。

- A. コミュニケーション管理計画。
- B. スコープ管理計画。
- C. プロジェクト管理計画。
- D. 変更管理計画。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 35

要件トレーサビリティ マトリックスを作成する主な目的の 1 つは、次のとおりです。

- A. 要件をソリューションにどのように接続できるかを追跡します。
- B. ソリューションの成果物を検証するためのテスト ケースを提供します。
- C. プロジェクト要件の利害関係者の承認を文書化します。
- D. プロジェクト ソリューションのスコープを追跡します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

要件トレーサビリティ・マトリックスを作成する主な目的の一つは、要件がソリューションにどのように結びつくかを追跡することです。要件トレーサビリティ・マトリックスは、要件をプロジェクトのスコープ、目標、成果物、テストケースにリンクさせるツールです。要件トレーサビリティ・マトリックスは、ビジネスアナリストがプロジェクトのライフサイクル全体を通して要件の起源、割り当て、依存関係、ステータスを追跡し、ソリューションが要件と利害関係者の期待を満たしていることを保証するのに役立ちます。また、要件トレーサビリティ・マトリックスは、変更管理、問題解決、ソリューションの品質とパフォーマンスの測定にも役立ちます。要件トレーサビリティ・マトリックスは、表、スプレッドシート、データベースなど、さまざまな形式で作成できます¹²。参考文献：PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA)

検査

コンテンツアウトライン3、18 ページ; 実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド4、92 ページ。

質問: 36

現在のビジネス ビューと望ましいビジネス ビューを比較して、起こりうるビジネスの変化を分析する手法は次のどれですか。

- A. 影響分析 SWOT分析
- B. SWOT分析
- C. ギャップ分析
- D. トレンド分析

正解: ([正解を表示します](#))

ギャップ分析とは、現状と望ましいビジネス観を対比させ、ビジネスにおける変化の可能性を分析する手法です。現状と将来のビジネス観のギャップを特定し、そのギャップを埋めるために必要なアクションの優先順位付けに役立ちます。ギャップ分析は、提案された変更の実現可能性、範囲、そして価値を評価するために活用できます。参考文献 :PMIプロフェッショナル・イン・ビジネスアナリシス (PMI-PBA) 試験内容概要(2019年)、10ページ ; 実務家のためのビジネスアナリシス : 実践ガイド (2015年)、52ページ。

質問: 37

製品設計が規定の要件を満たしていることを確認するには、何をすべきでしょうか？

- A. 複数の内部設計レビューを実施します。
- B. トレーサビリティ マトリックスを使用します。
- C. 学んだ教訓の結果を確認します。
- D. 経験豊富な開発チームを雇用します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

PMIビジネスアナリシスプロフェッショナルの目標と内容によると、トレーサビリティマトリックスは、プロジェクトライフサイクル全体を通じて要件を追跡し、関連付けるために使用するツールです。トレーサビリティマトリックスは、要件と設計要素、テストケース、検証結果間の関係性と依存関係を示すことで、製品設計が規定の要件を満たしていることを保証するのに役立ちます。また、トレーサビリティマトリックスは、要件と設計のステータスと進捗状況を監視し、発生する可能性のあるギャップ、不一致、または競合を特定して解決するのにも役立ちます。さらに、トレーサビリティマトリックスは、要件と設計の影響分析と変更管理を容易にします。参考文献 :

PMIビジネス分析プロフェッショナルの目標と内容 :PMI-PBA認定資格、PMIビジネス分析プロフェッショナルの参考文献リスト :PBA参考文献リスト、PMIビジネス分析プロフェッショナルの学習ガイド :Study.com

質問: 38

ビジネス分析と品質保証活動に統合された機能を提供するツールはどれですか？

- A. 機能仕様ツール
- B. ソリューション品質保証ツール
- C. システムユースケースモデリングツール
- D. 要件トレーサビリティツール

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考文献: <https://warren2lynch.medium.com/all-you-need-to-know-about-use-case-modeling-828756da3215>

質問: 39

ビジネスアナリストは、潜在的なソリューションオプションの費用対効果分析を行っています。関係者は、推定成長率が非常に重要であると述べています。

ビジネスアナリストがこの情報を判断できる手法はどれですか？

- A. 内部収益率
- B. 回収期間
- C. 正味現在価値 (NPV)
- D. 投資収益率 (ROI)

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 40

A社は、B社が完成させられなかった製品の開発を完了させる契約を受注しました。ビジネスアナリストは、B社が残した文書のコピーを受け取りました。

今回のプロジェクトが成功することを確実にするために、ビジネスアナリストは次のどのドキュメントに最も注意を払う必要がありますか？

- A. ビジネスユースケース
- B. アプリケーション設計ドキュメント
- C. テストケースのドキュメント
- D. 契約条項

正解: A ([コメントを発表する](#))

ビジネスユースケースは、ビジネスアナリストがプロジェクトを成功させるために最も注意を払うべきドキュメントです。ビジネスユースケースは、ユーザーとシステム間のインタラクション、そしてユーザーがシステムから得る価値やメリットを記述したドキュメントです。ビジネスユースケースは、ビジネスアナリストとプロジェクトチームがビジネスニーズ、目標、そして関係者の期待を理解し、システムのスコープ、機能、そして動作を定義するのに役立ちます。また、ビジネスユースケースは、システムが要件を満たし、期待される成果をもたらしていることを検証し、検証するのに役立ちます。

参考資料: PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要1、18 ページ; 実務者のためのビジネス分析: 実践ガイド2、93 ページ。

質問: 41

A社のビジネスアナリストは、健康保険会社Bの新しい医療コード群の実装とテストを支援する3年間のプロジェクトに任命されました。ビジネスアナリストは、プロジェクトに参加する多くの関係者を特定しました。例えば、A社は要件定義とコーディングを行う技術スタッフを任命し、新機能のテストを行うテストチームを編成します。B社のシニアディレクターは、毎週の進捗状況報告を要求します。A社のプロジェクトマネージャーは、プロジェクト計画を作成し、会議のスケジュールを立て、議事録を作成します。

上記のシナリオでは、A社の技術スタッフとテストチームの役割は何でしょうか。

- A. 通知する
- B. 責任者
- C. 責任を負う
- D. 相談する

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 42

あるビジネスアナリストは、既存の調達システムのユーザーインターフェースを更新するプロジェクトに取り組んでいます。エンドユーザーから、新しいソリューションではコアビジネスプロセスをサポートできないのではないかという懸念が寄せられています。

ビジネスアナリストは、新しいインターフェースに関するエンドユーザーの懸念にどのように対処できるでしょうか？

- A. 機能要件を収集するためのプロトタイプを開発します。
- B. エンティティ関係図を使用してビジネスデータオブジェクトを文書化します
- C. ユーザーインターフェースをサポートするユースケースパッケージを開発します。
- D. 利害関係者の登録を参照して、ユーザーがプロジェクトに影響を与える権限を持っているかどうかを評価します。

正解: **A** ([コメントを発表する](#))

質問: 43

ビジネスアナリストは、スコープを定義するための初期レビューを実施します。この分析には、ビジネスケース、プロジェクトの目標、目的のレビューが含まれ、必要なコンテキストを取得します。この情報に基づいて、ビジネスアナリストは、これが複数のインターフェースを備えた大規模なプロジェクトであり、当初予算に含まれていなかった費用が会社に発生する可能性があるかと判断します。

ビジネスアナリストが予算について話し合う必要があるかどうかを検証できるように、アプローチを決定するには、プロジェクトのどのような特性が必要ですか？

- A. 使用するモデルの種類の決定
- B. 実施する情報収集活動の種類
- C. 選択されたプロジェクトライフサイクル
- D. 作成されるビジネス分析成果物

正解: **C** ([コメントを発表する](#))

質問: 44

A社のビジネスアナリストは、健康保険会社Bの新しい医療コード群の実装とテストを支援する3年間のプロジェクトに任命されました。ビジネスアナリストは、プロジェクトに参加する多くの関係者を特定しました。例えば、A社は要件定義とコーディングを行う技術スタッフを任命し、新機能のテストを行うテストチームを編成します。B社のシニアディレクターは、毎週の進捗状況報告を要求します。A社のプロジェクトマネージャーは、プロジェクト計画を作成し、会議のスケジュールを立て、議事録を作成します。

上記のシナリオでは、A社の技術スタッフとテストチームの役割は何でしょうか。

- A. 相談する
- B. 責任者
- C. 責任を負う
- D. 通知

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照:

質問: 45

変更管理システムには、緊急事態が発生した場合に正式な審査なしに変更を実施するための規定が含まれています。この規定が活用される場合：

- A. 変更に関連するリスクは評価されていません。
- B. 変更は引き続き文書化され、キャプチャされる必要があります。
- C. 変更管理委員会を設立する必要があります。
- D. 管理者の介入なしに変更を適用できます。

正解: ([正解を表示します](#))

PMIビジネス分析ガイドによると、変更管理システムは、プロジェクトライフサイクル全体を通じて要件やその他のプロジェクト成果物への変更を管理するのに役立つツールです。変更管理システムには、プロジェクトのスコップ、スケジュール、コスト、品質、またはリスクに影響を与える重大な欠陥や問題を緊急に修正する必要がある場合など、緊急時に正式なレビューなしで変更を実施するための規定が含まれています。ただし、この規定を利用する場合でも、変更の追跡可能性と説明責任を維持し、すべての関係者に伝達するために、変更は文書化され、記録される必要があります。変更の文書化と記録は、要件やその他のプロジェクト成果物における混乱や不整合を回避し、その影響と結果を評価するのに役立ちます。緊急事態であっても、変更に伴うリスクは、変更を実施する前に評価されます。変更管理システムの一部として、変更管理委員会が既に設置されている必要があります。変更を実施した後も、その影響を監視および管理するために、管理者のさらなる関与が必要になる場合があります。参考文献：

PMI ビジネス分析ガイド、288 ～ 289 ページ。

質問: 46

会社の全部門における買掛金処理を効率化するためにプロジェクト チームが編成されました。

計画活動の一環として、ビジネスアナリストは関係者の特定に取り組んでいます。
ビジネスアナリストが利害関係者を特定するために使用する手法は次のどれですか？

- A. プロトタイピング
- B. 状態図
- C. ブレインストーミング
- D. 推定

正解: C ([コメントを发表する](#))

有効的なPMI-PBA問題集はJPNTTest.com提供され、PMI-PBA試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新PMI-PBA試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここでPMI-PBA問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

ビジネスアナリストは、製品のベースライン設定後に要件変更を正式に追跡できるようにしたいと考えています。提案された変更を評価するために、ビジネスアナリストは何を必要としますか？

- A. 要件管理計画
- B. 影響分析
- C. スコープステートメント
- D. パレート分析

正解: B ([コメントを发表する](#))

PMIビジネスアナリスiprofessionalsの目標と内容によると、影響分析とは、変更要求がプロジェクトまたは製品の要件、スコープ、スケジュール、コスト、品質などの側面に及ぼす影響と影響を評価するために用いられる手法です。影響分析は、変更要求の実現可能性、望ましさ、優先度を判断するのに役立つだけでなく、変更に関連するリスク、課題、依存関係を特定するのに役立ちます。また、影響分析は、変更の影響を利害関係者に伝え、変更要求を承認または却下する意思決定プロセスを支援するのにも役立ちます。参考文献：

- * PMIビジネス分析professionalsの目標と内容 :PMI-PBA認定
- * PMIビジネス分析professionals参考文献リスト: PBA参考文献リスト
- * PMIビジネス分析professionals学習ガイド :Study.com

質問: 48

システムがさまざまな入力条件の組み合わせと各結果の確率にどのように反応するかを分析するには、どのツールを使用できますか？

- A. 決定木
- B. 重み付け基準
- C. 期待される金銭的価値
- D. 機能分解

正解: A ([コメントを发表する](#))

質問: 49

ユーザー受け入れテスト中に、要件分析に参加していない部門のユーザーによって不具合が記録されました。このような状況を回避し、プロジェクトへの影響を最小限に抑えるには、ユーザーは以下の対応をすべきでした。

- A. ユーザー受け入れテストスクリプトを確認する機会が与えられます。
- B. ステークホルダー分析の一環としてステークホルダーとして識別されます。
- C. ユーザーの作業にどのような影響があるかを理解するためにインタビューを行いました。
- D. ビジネス要件の開発と承認に関与します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

質問: 50

製品設計が規定の要件を満たしていることを確認するには、何をすべきでしょうか？

- A. 複数の内部設計レビューを実施します。
- B. トレーサビリティマトリックスを使用します。
- C. 学んだ教訓の結果を確認します。
- D. 経験豊富な開発チームを雇用します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

PMIビジネスアナリシスプロフェッショナルの目標と内容によると、トレーサビリティマトリックスは、プロジェクトライフサイクル全体を通じて要件を追跡し、関連付けるために使用するツールです。トレーサビリティマトリックスは、要件と設計要素、テストケース、検証結果間の関係性と依存関係を示すことで、製品設計が規定の要件を満たしていることを保証するのに役立ちます。また、トレーサビリティマトリックスは、要件と設計のステータスと進捗状況を監視し、発生する可能性のあるギャップ、不一致、または競合を特定して解決するのにも役立ちます。さらに、トレーサビリティマトリックスは、要件と設計の影響分析と変更管理を容易にします。参考文献：

- * PMIビジネス分析プロフェッショナルの目標と内容 :PMI-PBA認定
- * PMIビジネス分析プロフェッショナル参考文献リスト: PBA参考文献リスト
- * PMIビジネス分析プロフェッショナル学習ガイド :Study.com

質問: 51

顧客とビジネスアナリストは、ソリューションのスコープ策定において協力しています。顧客にとって重要なのは、以下の点です。

- A. 要件の変更は、完全に定義された場合にのみ伝達します。
- B. 要件を提供、明確化、および詳細化するために必要な時間を費やします。

C. 要件のコストと実現可能性の評価に挑戦します。

D. 要件実装の代替案分析を実行します。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

説明

顧客とビジネス アナリストは、ビジネス ニーズに対応するソリューションの境界、前提、成果物を記述したソリューション スコープの開発に協力しています。

顧客は、ソリューションのスコープを定義する基礎となる要件を提示、明確化、詳細化するために必要な時間を費やすことが重要です。要件とは、顧客とステークホルダーを満足させるためにソリューションが備えるべき、または満たすべき機能、特徴、機能、品質です。要件を提示、明確化、詳細化することで、顧客はビジネスアナリストがソリューションの問題、ニーズ、期待、そして価値提案を理解するのを支援することができます。これにより、ビジネスアナリストは、顧客のビジョンと目標に合致し、実現可能で、実行可能で、望ましいソリューションのスコープを定義することができます。参考資料 :PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要、15ページ。

質問: 52

ビジネスアナリストはシステム拡張プロジェクトに取り組んでおり、要件管理計画に従って要件定義を完了しました。ビジネスアナリストは、関係者に承認を申請する準備が整っています。

ビジネスアナリストはどのように承認を得るべきでしょうか？

A. 要件の正式または非公式のレビューを実施します。

B. 要件の変更の監査履歴ログを作成して維持します。

C. レビュー用に欠陥追跡ログを提供します。

D. 要件の承認を要求する電子メールを送信します。

正解: ([正解を表示します](#))

レビューとは、要件などの作業成果物を検査し、誤り、脱落、矛盾、または曖昧さを特定する手法です。レビューは、求められる厳密さや文書化のレベルに応じて、正式なものにも非公式なものにもなります。レビューは、ビジネスアナリストが単独で行うことも、プロジェクトマネージャー、スポンサー、主題専門家、エンドユーザーなどの他の利害関係者と共同で行うこともできます。レビューは、読み取り、ウォークスルー、検査、ピアレビューなど、さまざまな方法で実施できます。レビューの目的は、要件が明確、完全、正確、かつ一貫しており、品質基準と利害関係者の期待を満たしていることを確認することです。レビューを実施することで、ビジネスアナリストは利害関係者の承認を得て、要件に対する彼らの同意とコミットメントを確認することができます。参考文献 :PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要1、23ページ、Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide2、131ページ。

質問: 53

ビジネスアナリストは、顧客コールセンターに新しい電話システムを実装するプロジェクトに割り当てられました。

ビジネスアナリストはビジネスケースを作成する必要があります。

ビジネス アナリストがビジネス ケースへの入力として使用するコンポーネントは次のどれですか。

- A. プロジェクトのタイムライン
- B. プロジェクトの範囲
- C. 製品の範囲
- D. 作業分解構造

正解: ([正解を表示します](#))

ビジネスアナリストは、ビジネスケースへのインプットとして製品スコープを使用する必要があります。製品スコープとは、プロジェクトが提供する製品、サービス、または成果の特徴、機能、特性を記述したものです。製品スコープは、ビジネス上の問題や機会、望ましい成果、そしてソリューションのメリットを定義するのに役立ちます。また、プロジェクトの実現可能性と実行可能性に影響を与える可能性のある前提条件、制約、リスク、依存関係を特定するのにも役立ちます。参考文献：PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル（PMI-PBA）試験内容概要1、9ページ；実務家のためのビジネスアナリシス：実践ガイド2、36ページ。

質問: 54

要件ベースラインが承認された後、ビジネスアナリストはどのようにして製品開発の段階的な反復を関係者に示すことができますか？

- A. プロジェクト スポンサーとパフォーマンス データを確認します。
- B. プロトタイプ of の概念実証モデルを作成します。
- C. 個別のテスト グループと話し合っ てテストのステータスを確認します。
- D. 要件ウォークスルー セッションを実施します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 55

要件の整合性を保証する最良の方法は次のとおりです。

- A. 要件管理ツールを使用して要件の変動性を測定し、要件の変更履歴を維持する
- B. 変更管理委員会を設立し、各要件のステータスを追跡し、要件管理ツールを使用する
- C. 要件ベースラインを確立し、変更管理委員会を設立し、各要件に一意のラベルを付ける
- D. バージョン管理を実装し、要件の変更履歴を維持し、各要件のステータスを追跡します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 56

ある組織は、現在のシステムの置き換えを進めています。ビジネスアナリストは、アップグレード後も他のシステムへの既存の接続がすべて機能し続けることを確認する責任を負っています。

移行を成功させるために、ビジネスアナリストはどのような分析を実施する必要がありますか？

- A. システム

- B. インターフェース
- C. ドキュメント
- D. ユーザーインターフェース

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照:

質問: 57

ビジネスアナリストはテストセッション後に不一致レポートを確認しています。不一致レポートには、ビジネスアナリストが対処しなければならない欠陥が示されています。欠陥のあるテスト結果に対する適切な対応を識別するために、ビジネスアナリストが使用する必要がある基準は次のどれですか。

- A. 要件トレーサビリティマトリックスを検査して、要件がユースケースに接続されているかどうかを確認します。
- B. 欠陥が開発されたソリューション、元の要件、またはテストケースにあるかどうかを判断します。
- C. 対応する要件が要求側の利害関係者によって適切に承認されていることを確認します。
- D. 影響分析を実行し、変更要求を開いて、改訂された要件を次のベースラインに含めます。

正解: B ([コメントを发表する](#))

ビジネスアナリストは、欠陥が開発されたソリューション、当初の要件、あるいはテストケースのいずれにあるかを判断する必要があります。この基準は、ビジネスアナリストが欠陥の根本原因を特定し、欠陥のあるテスト結果への適切な対応を決定するのに役立ちます。欠陥の発生源に応じて、ビジネスアナリストは要件の修正、テストケースの更新、あるいはソリューションの変更要求を行う必要がある場合があります。また、ビジネスアナリストは、欠陥とその対応を関係する関係者に伝え、それに応じて不一致レポートを文書化する必要があります。参考文献 :PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要1、25ページ ; Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide2、140ページ。

質問: 58

ステークホルダーは、プロジェクトの成果物が当初のビジネスニーズを満たしていないという理由で、その成果物を却下しました。さらに、その成果物はベースラインで特定された要件を満たしていないことが判明しました。

この問題を解決するための最善のアプローチは何ですか？

- A. 承認された要件ベースラインのコピーを関係者に提供し、変更を加えずに進みます。
- B. 顧客と会って、ビジネスのニーズを誤解したことをお詫びすることができます。
- C. 利害関係者の要求を満たすために成果物を修正するために開発リソースに残業を要求します。
- D. 要件を再見積もり、変更管理プロセスに従うことを提案します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

質問: 59

要件を引き出す際に、インタビュー方式の使用を検討するのに適したタイミングは次の場合です。

- A. 利害関係者から要件の承認を得ようとしています。
- B. さまざまなソースから要件を収集するには時間が足りません。
- C. 関係者間のコミュニケーションに課題があります。
- D. 要件トレーサビリティマトリックスを組み立てます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

インタビューとは、ステークホルダーに質問をし、その回答を聞くことで、情報、意見、フィードバックを引き出す手法です。インタビューは、要件の明確化や検証、対立や誤解の解決、信頼関係の構築、複雑またはデリケートな問題の検討などに活用できます。ステークホルダー間で視点、期待、関心の相違など、コミュニケーションに課題がある場合こそ、インタビュー手法の活用を検討するのが適切です。インタビューは、直接的で個人的なコミュニケーションチャンネルを提供することで、インタビュアーが各ステークホルダーに合わせて質問と回答を調整し、ステークホルダーのニーズや懸念をより深く理解することを可能にし、これらの課題を克服するのに役立ちます。

その他の選択肢は、インタビュー方式の採用を検討するには適切な時期ではありません。ステークホルダーから要件の承認を得ようとする行為は、要求の引き出し活動ではなく、正式な文書化と承認を必要とする検証活動です。多くの異なる情報源から要件を収集する時間が十分でないことは、インタビューの活用を制限する制約となります。インタビューは時間とリソースを大量に消費する手法であり、一度に少数のステークホルダーしか関与させることができないからです。要件トレーサビリティマトリックスの作成は、要求の引き出し活動ではなく、ツールや文書を用いて要件とその情報源および成果物を関連付ける分析活動です。参考文献 :PMI-PBA

試験内容概要、10ページ

PMI-PBA

参考文献リスト、1ページ、BABOK

ガイドv3、50ページ。

質問: 60

ある組織は、現在のシステムの置き換えを進めています。ビジネスアナリストは、アップグレード後も他のシステムへの既存の接続がすべて機能し続けることを確認する責任を負っています。

移行を成功させるために、ビジネスアナリストはどのような分析を実施する必要がありますか？

- A. ドキュメント
- B. ユーザーインターフェース
- C. インターフェース
- D. システム

正解: C ([コメントを发表する](#))

インターフェース分析は、異なるコンポーネントまたはシステムがどのように相互作用し、情報を交換するかを記述する手法です。インターフェース分析は、各システムの入力、出力、依存関係を識別し、それらが相互に互換性と一貫性があることを確認するのに役立ちます。インターフェース分析は、システム間の潜在的な統合の問題、ギャップ、競合を検出するのにも役立ちます。現在のシステムを置き換えている組織は、他のシステムへのすべての現在の接続がアップグレード後も機能し続けることを保証できるため、移行を成功させるためにインターフェース分析を実施する必要があります。その他のオプションは正しくありません。ドキュメント分析は、既存のドキュメントまたはレコードをレビューして情報や要件を引き出す手法です。ユーザーインターフェース分析は、ユーザーがシステムまたは製品とどのように相互作用するかを設計および評価する手法です。システム分析は、システムまたはプロセスの構造、動作、機能を理解し、モデル化する手法です。

質問: 61

人事、エンジニアリング、マーケティングの各部門から、新製品に関するビジネスニーズに関するフィードバックが寄せられました。3部門からのフィードバックを分析した上で、以下の点が最適と考えられます。

- A. 製品の最も価値の高いビジネスニーズに投票する
- B. 会社の目標に沿った製品範囲で協力します。
- C. 各部門の目標を最大限に達成できるように交渉します。
- D. 製品スポンサーに決定を委任します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

有効的なPMI-PBA問題集はJPNTTest.com提供され、PMI-PBA試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新PMI-PBA試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここでPMI-PBA問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 62

あるビジネスアナリストは、非常に複雑なプロジェクトに取り組んでおり、複数の部門のステークホルダーから多数の要件を抽出しました。要件が多すぎるため、ステークホルダーは、スコープが大きくなる可能性を最小限に抑えるために、要件に優先順位を付けることにしました。

ビジネスアナリストは要件を管理するためにどの手法を使用できますか？

- A. モスコウ
- B. SMART目標
- C. RAC! モデル

D. ストーリーボード

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

説明

MoSCoW法は、要件を重要度と緊急度に応じてランク付けする優先順位付け手法です。この頭文字は「Must have（必須）Should have（すべき）」「Could have（できる）」「Won't have（できない）」の頭文字をとっています。この手法は、ビジネスアナリストが最も重要な要件に焦点を絞り、スコープクリープを最小限に抑えることで、要件管理に役立ちます。参考文献：PMIビジネスアナリスiprofessional PMI-PBA)

検査

コンテンツ概要、19ページ。

質問: 63

プロジェクトはマーケティング部門と調達部門に影響を与えます。プロジェクトマネージャーはビジネスアナリストに初めてプロジェクトの概要を説明します。ビジネスアナリストはディスカッションの直後に何をすべきでしょうか？

- A. プロセス所有者と時間をスケジュールします。
- B. 情報をプロジェクト計画に組み込みます。
- C. 問題ログを作成します。
- D. プロジェクトのリスクを評価します。

正解: ([正解を表示します](#))

ビジネスアナリストがプロジェクトマネージャーと話し合った後、すぐに行うべき最初のことは、プロセスオーナーとの時間をスケジュールすることです。プロセスオーナーとは、プロジェクトの影響を受ける特定のビジネスプロセスまたは手順の責任者である個人またはグループです。ビジネスアナリストは、プロセスの現状、問題点と機会、要件と期待、プロジェクトがプロセスに与える影響を理解する必要があります。プロセスオーナーと会うことで、ビジネスアナリストは関係を構築し、関連情報を収集し、整合性とコラボレーションを確保できます。ビジネスアナリストはプロジェクト計画を作成する前に、より多くの分析と計画を実施する必要があるため、情報をプロジェクト計画に組み込むのは時期尚早です。この段階では問題が特定されていないため、問題ログを作成する必要はありません。プロジェクトのリスク評価は重要ですが、ビジネスアナリストはまずプロジェクトの範囲と目的を理解する必要があるため、すぐに行うべきではありません。参考資料：PMIビジネス分析iprofessional PMI-PBA) 試験内容概要、PMIビジネス分析ガイド3、実務家のためのビジネス分析：実践ガイド4、プロセスオーナーとは？定義と責任

質問: 64

製品設計が規定の要件を満たしていることを確認するには、何をすべきでしょうか？

- A. 複数の内部設計レビューを実施します。
- B. トレーサビリティマトリックスを使用します。
- C. 学んだ教訓の結果を確認します。

D. 経験豊富な開発チームを雇用します。

正解: ([正解を表示します](#))

PMIビジネスアナリシスプロフェッショナルの目標と内容によると、トレーサビリティマトリックスは、プロジェクトライフサイクル全体を通じて要件を追跡し、関連付けるために使用するツールです。トレーサビリティマトリックスは、要件と設計要素、テストケース、検証結果間の関係性と依存関係を示すことで、製品設計が規定の要件を満たしていることを保証するのに役立ちます。また、トレーサビリティマトリックスは、要件と設計のステータスと進捗状況を監視し、発生する可能性のあるギャップ、不一致、または競合を特定して解決するのにも役立ちます。さらに、トレーサビリティマトリックスは、要件と設計の影響分析と変更管理を容易にします。参考文献：

* PMIビジネス分析プロフェッショナルの目標と内容 :PMI-PBA認定

* PMIビジネス分析プロフェッショナル参考文献リスト: PBA参考文献リスト

* PMIビジネス分析プロフェッショナル学習ガイド :Study.com

質問: 65

データベース管理者にとって最も価値のある要件ドキュメントの種類は次のとおりです。

A. データフロー図。

B. ビジネス プロセス ダイアグラム。

C. エンティティ関係図。

D. オブジェクト図。

正解: C ([コメントを发表する](#))

エンティティ関係図 (ERD) は、データベース管理者にとって最も価値のある要件ドキュメントの一種です。ERD は、データベース内のデータ エンティティとそれらの関係をグラフィカルに表現したものです。ERD は、データベース内でデータがどのように編成、格納、アクセス、および操作されるかを示します。ERD は、データベース スキーマの設計、文書化、および伝達に役立ちます。データ フロー図 (DFD) は、システムがシステムまたはプロセスをどのように流れるかをグラフィカルに表現したものです。DFD は、データの取得元、移動先、変換方法、および用途を示します。DFD は、システムまたはプロセスの分析、設計、または改善に役立ちます。ビジネス プロセス図 (BPD) は、ビジネス プロセス内のアクターによってアクティビティがどのように実行されるかをグラフィカルに表現したものです。BPD は、ビジネス プロセスにおいて誰が、何を、いつ、どこで、なぜ、どのように行うかを示します。BPD は、ビジネス プロセスのモデル化、文書化、または最適化に役立ちます。オブジェクト図は、オブジェクト指向システムにおけるオブジェクトとそれらの関係をグラフィカルに表現したものです。オブジェクト図は、オブジェクトがメッセージや操作を通じてどのように相互作用するかを示します。オブジェクト図は、オブジェクト指向設計を図解したりテストしたりするのに役立ちます。参考文献 :PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要、15 ページ；実務者のためのビジネス分析：実践ガイド2、95ページ。

質問: 66

ビジネスアナリストは要件変更を予想しています。スコープクリープを回避するために、ビジネスアナリストは何をすべきでしょうか？

- A. 元の要件のみを実装します。
- B. 変更をプロジェクト マネージャーに報告します。
- C. 関係者と会い、タイムラインへの影響について話し合います。
- D. 要件ベースラインを定義し、変更管理プロセスを実装します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 67

開発中に発生する変更や問題が公開され、開発の過程で議論されるよう、開発者と製品所有者が常にコミュニケーションをとることができるようにするための最適なアプローチは次のうちどれですか？

- A. 反復
- B. 滝
- C. 線形
- D. アジャイル

正解: ([正解を表示します](#))

アジャイルとは、開発者とプロダクトオーナーが常にコミュニケーションを取り、開発中に発生する変更や問題を可視化し、開発の進捗に合わせて議論できるようにするアプローチです。アジャイルは、反復的かつ漸進的な価値提供、コラボレーション、フィードバック、そして適応を重視します。アジャイル手法には、スクラム、カンバン、XPなどがあります。参考文献：PMIプロフェッショナル・イン・ビジネスアナリシス (PMI-PBA) 試験内容概要2019年)、14ページ；実践者のためのビジネスアナリシス：実践ガイド』2015年)、17ページ。

質問: 68

ビジネスアナリストは、プロジェクトの要件収集フェーズにおいて、様々なステークホルダーから複数の変更を受け取ります。期待されるソリューションを確実に提供するために、ビジネスアナリストはプロジェクトのライフサイクル全体を通じてどのように要件を追跡すべきでしょうか？

- A. プロジェクトのライフサイクルを通じて検査を実行し、ギャップを検出し、要件のベースラインを調整します。
- B. 要件のベースライン更新を確認し、変更について話し合うために関係者との定期的な会議を計画します。
- C. リスク追跡マトリックスを確立し、適切な対応で各リスクを管理する担当者を指名します。
- D. すべての要件をマトリックスに記録し、定期的にレビューして、関係者の承認を得ます。

正解: ([正解を表示します](#))

マトリックスは、プロジェクトのライフサイクル全体を通して要件を記録、整理、追跡するために使用できるツールです。マトリックスは、ビジネスアナリストが要件のソース、依存関係、関係性、属性を特定し、要件のステータス、変更、トレーサビリティを監視するのに役立ち

ます。また、マトリックスは、ステークホルダーとの要件の伝達、検証、妥当性確認を促進し、ビジネスニーズや目標との整合性を確保するためにも役立ちます。マトリックスは、要件とソリューションの現状を反映し、ステークホルダーの承認と受け入れを得るために、定期的に更新およびレビューすることができます。マトリックスの一般的な例として、要件トレーサビリティマトリックス (RTM) が挙げられます。これは、要件をプロジェクトのスコップ、目標、成果物、テストケースにリンクするツールです¹²。参考文献 : PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) 試験内容概要3、18ページ、Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide⁴、92ページ。

質問: 69

ある企業が顧客向けプロジェクトの実装の最終段階に入っています。ビジネスアナリストは、ソリューションを反復的に検証するためにどのようなツールや手法を使用できますか？

- A. 予想コストと実際のコスト
- B. 品質のばらつき
- C. 期待結果と実際の結果
- D. スケジュール差異

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 70

ビジネスアナリストは、はるかに大規模なソリューションの機能を提供するプロジェクトに割り当てられています。

このプロジェクトには多くの要件があるにもかかわらず、十分な資金が得られていません。さらに、関係者の意見が対立しています。

要件ベースラインを確立しながらビジネス価値を最大化するために、ビジネスアナリストはどのようなツールとテクニックを使用する必要がありますか？

- A. 重み付けマトリックス、プロセスフロー、組織図
- B. ステークホルダー登録簿、意思決定ツリー、能力マトリックス
- C. トレーサビリティマトリックス、コンテキストダイアグラム、スコープドキュメント
- D. 決定木、重み付きマトリックス、コンテキストダイアグラム

正解: ([正解を表示します](#))

説明

意思決定ツリー、重み付けマトリックス、コンテキストダイアグラムは、ビジネスアナリストが要件ベースラインを確立しながらビジネス価値を最大化するために役立つツールと手法です。意思決定ツリーは、特定の条件または基準に基づいて、考えられる結果と選択肢をグラフィカルに表現したものです。意思決定ツリーは、期待される価値またはリスクに基づいて、複数の選択肢の中から最適な選択肢を評価し、選択するのに役立ちます。

加重マトリックスとは、様々な要素や指標にスコアと重みを割り当て、比較・優先順位付けを行う表です。加重マトリックスは、ビジネス目標、メリット、コスト、リスク、依存関係、緊急性などとの整合性に基づいて要件をランク付けするのに役立ちます。コンテキスト図は、システムまたは製品とその環境との境界や相互作用を示す視覚的なモデルです。コンテキスト図

は、プロジェクトのスコープとステークホルダー、そしてそれぞれのニーズと期待を定義するのに役立ちます。参考文献：PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル（PMI-PBA）

試験内容概要（2019年）、11～12ページ；ビジネス
分析実務家のための実践ガイド（2015年）、66-69ページ。

質問: 71

ビジネス上の問題に対処するための複数の選択肢の中から決定を下すときに、SWOT 分析はどのように役立ちますか？

- A. 関係者が各オプションの脅威を回避する方法を決定するのに役立ちます。
- B. プロジェクト スポンサーが各オプションの評価を決定するのに役立ちます。
- C. プロダクトオーナーがオプションを選択しない場合の機会コストを判断するのに役立ちます。
- D. 関係者が各オプションの長所と短所を特定するのに役立ちます。

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 72

ビジネスアナリストは、地元のピザレストランに自動注文入力ソフトウェアを実装するプロジェクトを主導しています。

ビジネスアナリストはプロジェクトに関する情報をほとんど持っていません。発注プロセスに時間がかかりすぎ、間違った発注で終わることがよくあります。

ビジネスアナリストは次にどのようなステップを踏むべきでしょうか？

- A. 発注部門のマネージャーとの要件収集セッションをスケジュールします。
- B. 現在の発注プロセスに関する情報を要求し、他の企業と比較します。
- C. 実装をサポートするテスト リソースを特定します。
- D. 実装するソフトウェアを選択し、技術リソースの操作を開始します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

現在の発注プロセスに関する情報を要求し、他社と比較することは、類似または関連する情報源からデータを収集し、ベストプラクティスをベンチマークする手法です。現在の発注プロセスに関する情報を要求し、他社と比較することで、ビジネスアナリストは要件を満たした後、問題の現状を分析し、ギャップや改善の機会を特定し、可能な解決策や代替案を提案することで、次のステップに進むことができます。参考文献：PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル（PMI-PBA）

試験内容概要

（2019）、12ページ；**実務家のためのビジネス分析：実践ガイド**（2015）、69ページ。

質問: 73

システムがさまざまな入力条件の組み合わせと各結果の確率にどのように反応するかを分析するには、どのツールを使用できますか？

- A. 決定木

- B. 機能分解
- C. 期待される金銭的価値
- D. 重み付け基準

正解: ([正解を表示します](#))

説明

意思決定ツリーは、システムが様々な入力条件の組み合わせに対してどのように反応するかを、それぞれの結果の確率とともに分析するために使用できるツールです。意思決定ツリーは、意思決定問題をグラフィカルに表現したもので、可能な選択肢とその結果を示します。意思決定ツリーは、各選択肢の期待値を評価し、最適な選択肢を選択するのに役立ちます。機能分解は、複雑なシステムやプロセスをより小さく単純なコンポーネントに分解するために使用できるツールです。期待金銭的価値は、各結果の価値とその確率を乗じて合計することで、不確実性の下での意思決定の平均的な結果を計算するツールです。重み付け基準は、要件や選択肢の重要度とパフォーマンススコアに基づいて優先順位を付けるツールです。参考文献：PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA)

試験内容概要1、15ページ ;ビジネス分析
実践者のための実践ガイド2、95ページ。

質問: 74

開発フェーズにあるプロジェクトに、新しいビジネスアナリストが就任しました。プロジェクトマネージャーは要件の進捗状況の最新情報を求めています。ビジネスアナリストは、どのような方法で状況を伝えればよいのでしょうか？

- A. プロジェクト憲章
- B. トレーサビリティマトリックス
- C. ビジネス分析計画
- D. コミュニケーション計画

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 75

アイデアの妥当性や実用性を考慮せずに、グループからあるテーマに関するアイデアを最大数収集できる手法はどれですか？

- A.ブレインストーミング
- B. インタビュー
- C. プロトタイピング
- D. 測量

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 76

ビジネスアナリストは、顧客コールセンターに新しい電話システムを実装するプロジェクトに割り当てられました。

ビジネスアナリストはビジネスケースを作成する必要があります。

ビジネスアナリストがビジネスケースへの入力として使用するコンポーネントは次のどれですか。

- A. 作業分解構造
- B. プロジェクトのタイムライン
- C. プロジェクトの範囲
- D. 製品の範囲

正解: B ([コメントを发表する](#))

有効的なPMI-PBA問題集はJPNTTest.com提供され、PMI-PBA試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新PMI-PBA試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここでPMI-PBA問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

ステークホルダーは、プロジェクトの成果物が当初のビジネスニーズを満たしていないという理由で、その成果物を却下しました。さらに、その成果物はベースラインで特定された要件を満たしていないことが判明しました。

この問題を解決するための最善のアプローチは何ですか？

- A. 顧客と会い、ビジネスのニーズを誤解したことをお詫びします。
- B. 要件を再見積もり、変更管理プロセスに従うことを提案します。
- C. 承認された要件ベースラインのコピーを関係者に提供し、変更を加えずに進みます。
- D. 利害関係者の要求を満たすために成果物を修正するために開発リソースに残業を要求します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

この問題を解決する最善のアプローチは、要件の再見積もりと変更管理プロセスへの準拠を提案することです。これにより、プロジェクトチームは変更要求の影響を評価し、変更の実現可能性とコストを評価し、変更を実施する前にステークホルダーの承認を得ることができます。変更管理プロセスは、プロジェクトや大規模な取り組みにおける変更要求を管理するために使用される方法です。これは変更管理計画の一部であり、チームまたは企業内での変更管理の役割を定義します¹。顧客と会ってビジネスニーズを誤解したことを謝罪するだけでは不十分です。問題の根本原因に対処したり、解決策を提案したりしていないからです。承認済みの要件ベースラインのコピーをステークホルダーに提供し、変更を行わずに先に進むことは、ステークホルダーのフィードバックと不満を無視することになるので、受け入れられません。ステークホルダーの要求を満たすために成果物を修正するために開発リソースに残業を要求することは、作業品質の低下、プロジェクトのコストとリスクの増大、そしてチームの士気低下につながる可能性があるため、推奨されません。参考資料: PMIビジネス分析プロフェッショ

ナル PMI-PBA) 試験内容概要、PMIビジネス分析ガイド3、実践者のためのビジネス分析：実践ガイド4、変更管理プロセスとは？（変更ログの例付き）

質問: 78

開発段階にあるプロジェクトに、新しいビジネスアナリストが就任しました。プロジェクトマネージャーは要件の進捗状況の最新情報を求めています。

ビジネスアナリストはステータスを伝えるために何を使用すべきでしょうか？

- A. プロジェクト憲章
- B. コミュニケーション計画
- C. ビジネス分析計画
- D. トレーサビリティマトリックス

正解: ([正解を表示します](#))

ビジネスアナリストは、要件のステータスを伝えるためにトレーサビリティマトリックスを活用する必要があります。トレーサビリティマトリックスとは、要件間の関係性と依存関係を示し、プロジェクトライフサイクル全体を通して要件の変更、検証、妥当性確認を追跡するドキュメントです。トレーサビリティマトリックスは、ビジネスアナリストとプロジェクトマネージャーが要件の進捗状況と品質を監視し、ギャップ、課題、リスクを特定するのに役立ちます。参考文献：PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル PMI-PBA) 試験内容概要、20ページ；実務者のためのビジネスアナリシス：実践ガイド2、100ページ。

質問: 79

プロジェクトの主要な関係者は、最新のリリースで特定の要件が実装されていないことを知って驚きます。

ビジネスアナリストは、要件ステータスが「延期」に変更されたことを利害関係者に伝えます。ステークホルダーがステータスの変更に驚かないようにするにはどうすればよいでしょうか。

- A. ステータスは要件のソースに伝達される必要があります。
- B. プロジェクトの開始前にステータスを確認する必要があります。
- C. ステータスはすべてのプロジェクト関係者に伝達される必要があります。
- D. トレーサビリティマトリックスでステータスが更新されているはずです。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

コミュニケーションは要件管理において不可欠な要素です。要件が明確で一貫性があり、プロジェクトのすべてのステークホルダーの合意を得ていることを保証するためです。ステークホルダーとは、プロジェクトに関心を持ち、影響力を持ち、要件に関する意見、フィードバック、承認を提供できる個人またはグループです。コミュニケーションは、ステークホルダー間の予期せぬ事態、誤解、対立を回避し、彼らの期待と満足度を管理する上でも役立ちます。コミュニケーションは、タイムリーで正確、関連性があり、透明性が高く、要件管理計画12で定義されたコミュニケーション計画と戦略に従う必要があります。

コミュニケーションの側面の一つは要件のステータスです。これは、プロジェクトライフサイクル全体を通して要件の進捗状況と完了状況を示します。要件のステータスは、トレーサビリティマトリクスを使用して追跡・文書化できます。トレーサビリティマトリクスは、要件をそのソースにリンクし、プロジェクト全体を通して追跡するツールです。また、要件のステータスは、変更管理プロセスを使用して監視・管理することもできます。変更管理プロセスは、要件への変更を評価、承認、実装するプロセスです。要件のステータスは、提案済み、承認済み、実装済み、検証済み、延期済み、削除済み、拒否済みなど、さまざまな値を持ちます¹²。

要件のステータスが変更された場合は、要件の発行元やプロジェクトチームだけでなく、すべてのプロジェクト関係者に通知する必要があります。これは、要件のステータスの変更がプロジェクトのスコープ、スケジュール、コスト、品質、リスクに影響を与える可能性があり、関係者の利益や期待にも影響を及ぼす可能性があるためです。要件のステータスをすべてのプロジェクト関係者に通知することで、関係者全員に情報を提供し、プロジェクトへの関与を維持し、フィードバックや承認を得ることができます。また、質問にある主要な関係者が特定の要件が延期されたことを知らなかったような、予期せぬ事態を防ぐことにも役立ちます¹²。

したがって、最適な選択肢はCです。ステータスはプロジェクトの全関係者に伝達されるべきでした。選択肢Aは、要件のソースだけでなく、他の関係者にもステータスを伝達すべきだったため、最適な選択肢ではありません。選択肢Bは、プロジェクト開始前よりも早い段階でステータスを伝達すべきだったため、最適な選択肢ではありません。選択肢Dは、トレーサビリティマトリクスのステータスを更新するだけでは不十分であり、関係者がマトリクスにアクセスできない、またはマトリクスを認識していない可能性があるため、最適な選択肢ではありません。

参考文献: 1 PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA)

試験内容概要、ページ

9-11; 2 要件管理 101 | Smartsheet 2

質問: 80

ある企業は、苦情対応時間を40%短縮することで顧客サービスの向上を目指しています。この目標を達成するには、社内プロセスを再設計・最適化し、新製品でサポートする必要があります。クライアントは、業務の中断と短期的な生産性の低下は避けられないと考えています。ビジネスアナリストは、この変更に関連する無形のコストをどこで最もよく反映できるでしょうか？

- A. バランススコアカードチャート
- B. ビジネスケースでは
- C. 回収分析では
- D. 要件仕様書において

正解: B ([コメントを发表する](#))

質問: 81

ビジネスアナリストは、潜在的なソリューションが組織にどの程度適合するかを把握するために、実現可能性調査を実施しています。ビジネスアナリストはどのような実現可能性評価を行っているのでしょうか？

- A. 運用中
- B. 時間
- C. テクニカル
- D. 費用対効果

正解: A ([コメントを発表する](#))

説明/参考文献: <https://www.simplilearn.com/feasibility-study-article>

質問: 82

ある組織が国際的に事業を展開する可能性を検討しています。事業開始時に検討すべき要素は何でしょうか？

- A. 要件ベースラインへの影響
- B. 変更管理プロセス
- C. 外部依存関係
- D. 作成する成果物

正解: A ([コメントを発表する](#))

質問: 83

受け入れテスト中のビジネスアナリストの役割の重要な要素は次のとおりです。

- A. ユーザーがテストの実行中に問題に遭遇した場合にのみリソースとして機能します。
- B. 受け入れテストと欠陥特定の実行をユーザーに委任します。
- C. 受け入れ基準を定義して品質保証部門を支援します。
- D. ユーザー コミュニティに代わってすべての受け入れテストを実行します。

正解: C ([コメントを発表する](#))

質問: 84

製品検証におけるベストプラクティスは次のどれでしょうか？

- A. 各機能要件を評価するには、2 つの個別の測定が必要です。
- B. 評価の一貫性を保つために、2 人以上のテスターが同じテスト ケースを使用して製品をテストする必要があります。
- C. 評価基準は、要件を測定するために使用されたものと同じである必要があります。
- D. 要件の測定は、2 つ以上の評価の平均に基づく必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 85

新規プロジェクトが計画段階にあります。ビジネスオーナーは、タイムラインが厳しいため、要件抽出をできるだけ早く開始すべきだと考えています。要件抽出を開始する前に、ビジネスアナリストはどのような活動を開始すべきでしょうか？

- A. ソリューションを評価する方法を定義します。
- B. 要件トレーサビリティ マトリックスを準備します。
- C. 高レベルのデータ モデルを作成します。
- D. 関連するシステムがどのように相互作用するかを文書化します。

正解: [D \(コメントを发表する\)](#)

質問: 86

設計フェーズに先立ち、プロジェクトチームは顧客と要件レビューを実施する必要があります。レビューの準備として、チームは以下の点に留意することが望ましいでしょう。

- A. 要件レビューで議論するために、製品のテスト手順を準備します。
- B. プロジェクトの早い段階で達成した進捗状況を顧客に印象づけるために、製品の設計を開始します。
- C. 要件を評価し、満たすことができない要件や延期する必要がある要件を強調表示します。
- D. 契約の修正を要求して、満たすのが困難な要件を契約から削除します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

説明

PMIビジネス分析ガイドによると、要件レビューとは、利害関係者、分野別専門家、その他の関係者が要件を提示し、評価する正式な会議です。レビューの目的は、要件が明確、完全、一貫性、実現可能性、テスト可能性を備え、ビジネスニーズと目標と整合していることを確認することです。レビューの準備として、チームが要件を評価し、満たせない要件や延期が必要な要件を明確にすることが最善です。これは、設計フェーズに進む前に対処または解決する必要があるギャップ、リスク、問題、依存関係を特定するのに役立ちます。テスト手順の準備、設計の開始、契約の修正依頼は、要件にエラー、バイアス、または矛盾をもたらす可能性があるため、レビュー前に行うべき適切なアクションではありません。参考文献 PMIビジネス分析ガイド、181～182ページ。

質問: 87

ある組織が国際的に事業を展開する可能性を検討しています。事業開始時に検討すべき要素は何でしょうか？

- A. 作成する成果物
- B. 要件ベースラインへの影響
- C. 外部依存関係
- D. 変更管理プロセス

正解: [\(正解を表示します\)](#)

説明

外部依存関係とは、プロジェクトの制御外にあるものの、プロジェクトのスコープ、スケジュール、コスト、品質、またはリスクに影響を与える可能性のある要因または条件です。外部依存関係には、法的、規制的、文化的、環境的、政治的、経済的、または技術的な要因が含まれます。国際的な事業展開の可能性を評価している組織は、これらの要因がプロジェクトの実現可能性、実行可能性、および望ましさに重大な影響を与える可能性があるため、プロジェク

ト開始時にこれらの要因を調査する必要があります。その他の要因は、プロジェクト開始時に調査すべき要因ではありません。生成される成果物とは、ステークホルダーの要件を満たすプロジェクトのアウトプットまたは結果です。要件ベースラインへの影響とは、ソリューションの範囲を定義する承認済み要件セットからの変更または逸脱です。変更管理プロセスとは、プロジェクトの範囲、スケジュール、コスト、品質、またはリスクへの変更がどのように特定、評価、承認、実装、および伝達されるかを管理する手順とツールです。これらの要因は、プロジェクト開始時ではなく、プロジェクトの計画フェーズまたは実行フェーズで決定または対処されます。参考文献：

PMI-PBA

試験内容概要、13ページ ;PMI-PBA

参考文献リスト、1ページ、BABOK

ガイドv3、

39ページ; 4.

質問: 88

要件ベースラインの機能を最もよく表すのは次のどれですか？

- A. 要件ドキュメントの進捗状況を追跡します。
- B. プロジェクトのスケジュール方法を定義します。
- C. 開発範囲の基礎を提供します。
- D. 製品の開発と進化を制御します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: <https://www.jamasoftware.com/blog/defining-requirement-baseline/>

質問: 89

ビジネス アナリストは、ユーザー ポータルでの小さな変更をサポートするための受け入れ基準を文書化しています。

アナリストはレビューのために基準を提出しましたが、不完全であると判断され、返却されました。

書類が返却された原因は何でしょうか？

- A. アナリストは、受け入れ基準の書類にスコープ ドキュメントを含めませんでした。
- B. アナリストはベースライン情報を収集できませんでした。
- C. アナリストは前方および後方のトレーサビリティを実行しました。
- D. アナリストは、ユーザー ストーリーを要件ドキュメント ツールとして利用しました。

正解: ([正解を表示します](#))

ベースライン情報とは、変更が行われる前のシステムまたはプロセスの現在の状態またはパフォーマンスです。

ベースライン情報は、ソリューションや成果物がステークホルダーに受け入れられるために満たさなければならない条件である受け入れ基準を文書化するために不可欠です。アナリストは、ユーザーポータルの軽微な変更を裏付けるために、現在の顧客満足度、応答時間、エ

ラー率などのベースライン情報を収集しておくべきでした。アナリストは、ベースライン情報と変更によって期待される結果を比較し、それに応じて受け入れ基準を定義しておくべきでした。アナリストがベースライン情報を収集しなかった場合、受け入れ基準は不完全なものとなり、返却されることになります。他の選択肢では、この問題が発生する可能性は低いでしょう。スコープドキュメントは、プロジェクトまたはソリューションの境界と成果物を定義する文書ですが、受け入れ基準の書類に含める必要はありません。前方および後方追跡可能性は、要件をそのソースや成果物にリンクさせる手法であり、要件の完全性と一貫性を確保するのに役立ちます。ユーザーストーリーは、As a

<役割>、<目標>を実現して、<利点>を実現したい」というものです。ユーザーストーリーは要件定義ツールとして使用できますが、受け入れ基準を定義するには不十分です。参考資料：PMI-PBA試験内容概要、13ページ、PMI-PBA参照リスト、1ページ、BABOKガイドv3、39ページ。

質問: 90

利害関係者との製品ニーズのコミュニケーションを改善し、理解を深めるには、どのツールを使用すればよいでしょうか？

- A. 要件とその特性および関係を文書化する要件管理ツール
- B. 文書管理システムと、関連するすべての文書をグループ化する関係マトリックス
- C. チームの知識を確実に取り込むバージョン管理機能に統合されたモデリングツール
- D. 情報の流れを文書化するワークフロー管理ツール

正解: ([正解を表示します](#))

説明

チームの知識を確実に取り込むバージョン管理機能に統合されたモデリングツールは、製品ニーズに関する利害関係者とのコミュニケーションを改善し、利害関係者の理解を深めるために使用すべきツールです。モデリングツールは、ビジネスアナリストが図、チャート、グラフ、モックアップなどの製品ニーズを視覚的に表現できるツールです。これらのモデルは、テキストによる説明よりも利害関係者が要件を理解し、検証するのに役立ちます。バージョン管理機能は、ビジネスアナリストがモデルの変更を追跡および管理し、一貫性と正確性を確保できるようにするツールです。バージョン管理機能により、チームメンバーと利害関係者間のコラボレーションと知識の共有も可能になります。要件とそのプロパティおよび関係を文書化する要件管理ツールは、製品ニーズを視覚的またはグラフィカルに表現しないため、製品ニーズに関する利害関係者とのコミュニケーションを改善し、利害関係者の理解を深めるために使用すべきツールではありません。関連するすべての文書をグループ化する文書管理システムと関係マトリックスは、製品ニーズのモデルを作成または表示するものではないため、製品ニーズに関するステークホルダーとのコミュニケーションを改善し、理解を深めるために使用すべきツールではありません。情報の流れを文書化するワークフロー管理ツールも、製品ニーズの一側面にのみ焦点を当て、機能性、品質、価値といった他の側面を捉えていないため、製品ニーズに関するステークホルダーとのコミュニケーションを改善し、理解を深めるた

めに使用すべきツールではありません。参考文献：『ビジネス分析実践ガイド1』77～78ページ、PMIビジネス分析プロフェッショナル（PMI-PBA）試験内容概要2、16ページ。

質問: 91

ビジネスアナリストは、ビジネスケース、プロジェクトの目標、目的を検討した後、組織がビジネスニーズに最適なソリューションを見つけるために探索的なアプローチを採用することを望んでいると判断します。

この組織のビジネスニーズに最も適したアプローチはどれですか？

- A. 変化主導型アプローチ
- B. 分析的アプローチ
- C. ウォーターフォールアプローチ
- D. 計画主導型アプローチ

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考: <https://www.slideshare.net/carlitos5071989/babok-v20>

有効的なPMI-PBA問題集はJPNTTest.com提供され、PMI-PBA試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新PMI-PBA試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここでPMI-PBA問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 92

ある企業が顧客向けに新製品を開発しており、顧客の受け入れテスト計画と要件に照らして製品の検証と妥当性確認を行う必要があります。製品は受け入れテスト基準に照らして問題なく検証されましたが、顧客は製品が要件を満たしていないと考えています。

これは、顧客の受け入れテスト計画が原因で発生しました。

- A. 不完全であり、要件が不足しています。
- B. 測定可能かつテスト可能な要件がありませんでした。
- C. 会社によって正式に承認されませんでした。
- D. 作業分解構造に含まれていませんでした。

正解: C ([コメントを发表する](#))

質問: 93

プロジェクトの最初のステップでビジネスアナリストは何をすべきでしょうか？

- A. プロジェクトの目標に沿ってスポンサーの期待を一致させます。
- B. 利害関係者とその利益を特定します。
- C. ユーザーのクラスとその要件を識別します。

D. 要件のソースを評価し、優先順位を付けます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: <https://www.glowtouch.com/business-analysis-process-flow/>

質問: 94

プロジェクトチームは新製品の開発初期段階にあります。プロジェクトは厳しいスケジュールと限られた予算で完了する必要があります。

やり直しのリスクを減らすためにチームは何をすべきでしょうか？

A. プロジェクト スポンサーに要件の優先順位付けを依頼します。

B. 新しい引き出しワークショップを企画します。

C. 要件に対してパレート分析を実行します。

D. 開発を続行する前に要件を検証します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

要件の検証は、特に期限が厳しく予算が限られているプロジェクトにおいて、手戻りのリスクを軽減するための重要な活動です。要件の検証とは、要件がビジネスニーズ、目標、そしてステークホルダーの期待と整合していること、そして明確性、完全性、一貫性、実現可能性、そしてテスト可能性を備えていることを確認することを意味します。要件の検証は、ビジネスアナリストとプロジェクトチームが要件の実装前にエラー、ギャップ、矛盾、曖昧性を特定し、解決するのに役立ちます。また、プロジェクトライフサイクルの後半における不要な変更や手戻りを回避するためにも役立ちます。参考資料 :PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル (PMI-PBA)

試験内容概要1、20ページ；実務家のためのビジネス分析：実践ガイド2、100ページ。

質問: 95

曖昧または検証不可能な要件を識別するために使用される手法は次のどれですか？

A. フィッシュボーン分析

B. リソースチェックリスト

C. トレーサビリティマトリックス

D. チームピアレビュー

正解: D ([コメントを发表する](#))

チームピアレビューは、曖昧または検証不可能な要件を特定するために用いられる手法です。チームピアレビューとは、同僚または専門家のグループが、品質、完全性、正確性、明確性、一貫性、およびテスト可能性について要件を検査および評価する手法です。チームピアレビューは、プロジェクトで混乱、誤解、またはエラーを引き起こす可能性のある、曖昧または検証不可能な要件を特定するのに役立ちます。また、チームピアレビューでは、要件の問題や欠陥に対する改善または解決のためのフィードバックや提案も提供されます。フィッシュボーン分析は、曖昧または検証不可能な要件を特定するために用いられる手法ではありません。フィッシュボーン分析は、問題や影響の根本原因を特定するために用いられる手法であり、その要因

とそれらの関係を分析します。フィッシュボーン分析は、問題が存在する理由や影響が発生する理由を理解するのに役立ちますが、要件の品質を直接検査または評価するものではありません。リソースチェックリストは、曖昧または検証不可能な要件を特定するために用いられる手法ではありません。リソース チェックリストは、人材、ツール、施設、機器など、ビジネス分析アクティビティを実行するために必要なリソースを識別して文書化するために使用されるツールです。

リソースチェックリストは、ビジネス分析作業に必要なリソースの計画と管理には役立ちますが、要件の品質を評価または検証することはできません。トレーサビリティマトリックスは、曖昧または検証不可能な要件を特定するために使用する手法ではありません。トレーサビリティマトリックスは、要件とその他のプロジェクト要素（設計テストケース、リスク、問題など）間の関係性と依存関係を追跡および文書化するために使用するツールです。トレーサビリティマトリックスは、要件の変更を監視および管理し、プロジェクトの目標と利害関係者のニーズとの整合性を確保するのに役立ちますが、要件の品質を測定または検証することはできません。参考文献：『Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide 1』、162～163ページ、『PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA) Examination Content Outline 2』、19～20ページ。

質問: 96

ある企業の経営陣は新製品の導入を決定しました。しかし、既存の慣習を変えることを強いる新製品はユーザーに受け入れられないのではないかと懸念されています。

ビジネスアナリストは次のことを行う必要があります。

- A. プロジェクト目標を達成するためにプロジェクト計画を遵守します。
- B. ユーザーの懸念を経営陣に伝え、プロジェクトを終了することを推奨します。
- C. プロジェクトの目的を明確に伝え、緊張を和らげるよう努めます。
- D. 競合が解決されるまでアプリケーションのデプロイメントを遅延します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ビジネス アナリストは、プロジェクトの目的を明確に伝え、既存の慣行の変更を強いる新しい製品をユーザーが受け入れない可能性があるかと懸念される場合は、緊張を和らげるよう努める必要があります。

コミュニケーションはビジネスアナリストにとって重要なスキルです。なぜなら、コミュニケーションは、ステークホルダーがプロジェクトとソリューションの目的、スコープ、メリット、リスクを理解できるようにするのに役立つからです。また、コミュニケーションは、ステークホルダーの期待を管理し、懸念に対処し、対立を解決し、変更に対する支持と賛同を得ることに役立ちます。プロジェクト目標を伝え、緊張を和らげることで、ビジネスアナリストは新製品の価値を示し、変更の背後にある理由を説明し、ユーザーからのフィードバックや提案に耳を傾け、ユーザーと前向きで協力的な関係を築くことができます。プロジェクト目標を達成するためにプロジェクト計画を厳守するだけでは不十分です。新製品に対するユーザーの抵抗や不満に対処していないからです。ユーザーの懸念を経営陣に伝え、プロジェクト

の終了を勧告することは、プロジェクトの成功を阻害し、投資したリソースを無駄にする可能性があるため、推奨されません。対立が解決されるまでアプリケーションの導入を遅らせることは、プロジェクトの遅延、手戻り、スコープクリープを引き起こす可能性があるため、効果的ではありません。参考資料: PMI ビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA)

検査

コンテンツ概要1、9 ページ; 実務者のためのビジネス分析: 実践ガイド2、55 ページ。

質問: 97

曖昧または検証不可能な要件を識別するために使用される手法は次のどれですか?

- A. チームピアレビュー
- B. フィッシュボーン分析
- C. トレーサビリティマトリックス
- D. リソースチェックリスト

正解: D ([コメントを発表する](#))

質問: 98

ビジネスアナリストは、ギャップが存在するかどうかを判断し、矛盾を識別するためのトレーサビリティ マトリックスを開発しています。

ID		Business Need	Status	Priority
----	--	---------------	--------	----------

トレーサビリティ マトリックスが使用可能であることを保証するために必要な重要なフィールドはどれですか?

- A. ステータス
- B. 階層
- C. 所有者
- D. 要件の説明

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ステータスは、トレーサビリティマトリックスが使用可能であることを保証するために必要な重要なフィールドです。ステータスは、承認済み、延期済み、実装済み、テスト済み、検証済みなど、各要件の現在の状態を示します。ステータスは、プロジェクトライフサイクル全体を通じて要件の進捗状況と完了状況を追跡するのに役立ちます。また、要件とプロジェクトの成果物の間に存在する可能性のあるギャップや矛盾を特定するのに役立ちます。参考文献 = PMIビジネスアナリストプロフェッショナル (PMI-PBA)

試験内容概要 (2019年)、10ページ ;ビジネス
分析実務者のための実践ガイド (2015年)、40ページ。

質問: 99

矛盾を解決するための品質要件と、適切な品質基準と運用定義が使用されていることを確認するための品質管理測定の結果の両方を監査する機能はどれですか？

- A. 品質管理
- B. 品質保証
- C. 品質管理
- D. 品質評価

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 100

要件定義を完了した後、プロジェクトマネージャーとビジネスアナリストは、プロジェクトスコープが予定スケジュール内では実現不可能であることに気付きます。ビジネスアナリストは、承認されたプロジェクトスケジュールに基づいて、チームが達成可能な作業量を確認する必要があります。

ビジネスアナリストはどの優先順位付け手法を使用する必要がありますか？

- A. 複数投票
- B. タイムボックス
- C. 加重ランキング
- D. SWOT分析

正解: ([正解を表示します](#))

解説 参考文献：

https://book.akij.net/eBooks/2018/September/5b8a80dd494ce/BABOK_Guide_v3_Member.pdf
(323)

質問: 101

ビジネス要件ドキュメントには、「会計システムと顧客関係システムの間でデータを送受信し、氏名と住所のデータを同期するためのAPIを構築する必要がある」という要件が含まれていました。このビジネス要件に対して、どのような対応をすべきでしょうか？

- A. ビジネス要件が必要な理由を指定しているため、残しておく必要があります。
- B. データをどのくらいの頻度で同期するかが指定されていないため、削除する必要があります。
- C. ビジネスニーズではなく問題に対する解決策を述べているため、修正する必要があります。
- D. データの種類とソース システムを指定するため、残しておく必要があります。

正解: C ([コメントを発表する](#))

説明

ビジネス要件とは、プロジェクトで対処しなければならないビジネスニーズや問題を記述したステートメントです。ビジネスが何を達成または改善したいのかという観点から記述すべきであり、どのように実現するかという観点から記述するべきではありません。

質問の要件では、ビジネスニーズ（氏名と住所のデータの同期）ではなく、ソリューション API が示されています。ビジネスニーズに焦点を当て、ソリューションの特定を避けるよう

に修正する必要があります。参考資料 :PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル (PMI-PBA)

試験内容概要

(2019)、7ページ；実務家のためのビジネス分析：実践ガイド (2015)、35ページ。

質問: 102

データベース管理者にとって最も価値のある要件ドキュメントの種類は次のとおりです。

- A. データフロー図。
- B. ビジネス プロセス ダイアグラム。
- C. エンティティ関係図。
- D. オブジェクト図。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

エンティティ関係図 (ERD) は、データベース管理者にとって最も価値のある要件ドキュメントの一種です。ERD は、データベース内のデータ エンティティとそれらの関係をグラフィカルに表現したものです。ERD は、データベース内でデータがどのように編成、格納、アクセス、および操作されるかを示します。ERD は、データベース スキーマの設計、文書化、および伝達に役立ちます。データ フロー図 (DFD) は、システムがシステムまたはプロセスをどのように流れるかをグラフィカルに表現したものです。DFD は、データの取得元、移動先、変換方法、および用途を示します。DFD は、システムまたはプロセスの分析、設計、または改善に役立ちます。ビジネス プロセス図 (BPD) は、ビジネス プロセス内のアクターによってアクティビティがどのように実行されるかをグラフィカルに表現したものです。BPD は、ビジネス プロセスにおいて誰が、何を、いつ、どこで、なぜ、どのように行うかを示します。BPD は、ビジネス プロセスのモデル化、文書化、または最適化に役立ちます。オブジェクト図は、オブジェクト指向システムにおけるオブジェクトとそれらの関係をグラフィカルに表現したものです。オブジェクト図は、オブジェクトがメッセージや操作を通じてどのように相互作用するかを示します。オブジェクト図は、オブジェクト指向設計を図解したりテストしたりするのに役立ちます。参考文献 :PMIビジネスアナリシスプロフェッショナル (PMI-PBA)

検査

コンテンツ概要1、15 ページ; 実務家のためのビジネス分析: 実践ガイド2、95 ページ。

質問: 103

ビジネスマネージャーは、納品されたウェブサイトは世界中の何百万人ものユーザーに同時に対応する必要があると明言していました。しかし、本番稼働開始から1週間以内に、ウェブサイトは頻繁にクラッシュしました。

この状況は次の条件を満たしていれば回避できたはずでした。

- A. 重要な製品要件が取得され、テストされました。
- B. 非機能要件が特定され、テストされました。
- C. 品質属性が取得され、テストされました。

D. 重要なビジネス要件が満たされ、テストされました。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 104

ビジネスアナリストは、ヘルプデスク用の新しい通話管理システムを実装するプロジェクトに取り組んでいます。

通話に応答するまでの平均時間間隔は時間の経過とともに短くなると予想されていましたが、実際には間隔は長くなっていました。

ビジネスアナリストは問題を調査するためにどの手法を使用する必要がありますか？

- A. インタビュー
- B. 根本原因分析
- C. プロセスモデリング
- D. 観察

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 105

要件定義ワークショップでは、異なる部門のスポンサーやマネージャーが、製品の機能と要件について異なる視点や優先順位を表明します。ビジネスアナリストは、グループが合意に達するよう促すのに苦労します。

これを回避するために、ビジネスアナリストは何を定義すべきでしょうか？

- A. ビジネス分析計画における意思決定プロセス
- B. プロジェクト管理計画における意思決定プロセス
- C. ビジネス分析計画におけるコミュニケーションアプローチ
- D. プロジェクト管理計画におけるコミュニケーションアプローチ

正解: B ([コメントを发表する](#))

説明/参考資料: [https://www.projectmanagement.com/webinars/624824/Decision-Making-for-Project- Management](https://www.projectmanagement.com/webinars/624824/Decision-Making-for-Project-Management)

質問: 106

ある組織は、現在のシステムの置き換えを進めています。ビジネスアナリストは、アップグレード後も他のシステムへの既存の接続がすべて機能し続けることを確認する責任を負っています。

移行を成功させるために、ビジネスアナリストはどのような分析を実施する必要がありますか？

- A. システム
- B. インターフェース
- C. ドキュメント
- D. ユーザーインターフェース

正解: ([正解を表示します](#))

説明

有効的なPMI-PBA問題集はJPNTTest.com提供され、PMI-PBA試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新PMI-PBA試験問題集を提供します。JPNTTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここでPMI-PBA問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 107

ビジネスアナリストは、ユーザーポータルの軽微な変更をサポートするために、受け入れ基準を文書化しています。アナリストは基準をレビューに提出しましたが、不完全と判断され、差し戻されました。

書類が返却された原因は何でしょうか？

- A. アナリストは、受入れ基準の書類に範囲ドキュメントを含めませんでした。
- B. アナリストは、ユーザー ストーリーを要件ドキュメントツールとして利用しました。
- C. アナリストは前方および後方のトレーサビリティを実行しました。
- D. アナリストはベースライン情報を収集できませんでした。

正解: A ([コメントを发表する](#))

質問: 108

大規模で複雑なプロジェクトにおける製品およびプロジェクトリスクを軽減するために、ビジネスアナリストは、プロジェクトのライフサイクル全体にわたる正式な承認と追跡を含む変更プロセスの構築を支援することが求められます。ビジネスアナリストには、製品が承認された要件に準拠していること、変更が文書化されていること、そして各変更のステータスが報告されていることを保証する能力が必要です。

ビジネスアナリストは何を使うべきでしょうか？

- A. コンテキストモデル
- B. 作業分解構造
- C. 構成管理システム
- D. トレーサビリティマトリックス

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: <https://www.izenbridge.com/blog/what-is-configuration-management-a-software-management- study/>

質問: 109

設計フェーズに先立ち、プロジェクトチームは顧客と要件レビューを実施する必要があります。レビューの準備として、チームは以下の点に留意することが望ましいでしょう。

- A. 要件レビューで議論するために、製品のテスト手順を準備します。

- B. プロジェクトの早い段階で達成した進捗状況を顧客に印象づけるために、製品の設計を開始します。
- C. 要件を評価し、満たすことができない要件や延期する必要がある要件を強調表示します。
- D. 契約の修正を要求して、満たすのが困難な要件を契約から削除します。

正解: ([正解を表示します](#))

PMIビジネス分析ガイドによると、要件レビューとは、利害関係者、分野別専門家、その他の関係者が要件を提示し、評価する正式な会議です。レビューの目的は、要件が明確、完全、一貫性、実現可能性、テスト可能性を備え、ビジネスニーズと目標と整合していることを確認することです。レビューの準備として、チームが要件を評価し、満たせない要件や延期が必要な要件を明確にすることが最善です。これは、設計フェーズに進む前に対処または解決する必要があるギャップ、リスク、問題、依存関係を特定するのに役立ちます。テスト手順の準備、設計の開始、契約の修正依頼は、要件にエラー、バイアス、または矛盾をもたらす可能性があるため、レビュー前に行うべき適切なアクションではありません。参考文献 PMIビジネス分析ガイド、181～182ページ。

質問: 110

ビジネスアナリストは、組織内の様々なステークホルダーからのすべての要件を収集し、それらを完全なリストにまとめました。ステークホルダーと要件リストを確認した結果、要件リストが大きすぎて割り当てられた予算を超過することが判明しました。

ビジネスアナリストは、利害関係者と協力して要件の優先順位を決定し、どの要件を承認、延期、または拒否するかを決定するために、どのツールまたは手法を使用する必要がありますか。

- A. SMART目標
- B. モスクワ分析
- C. SWOT分析
- D. タイムボックス分析

正解: ([正解を表示します](#))

モスクワ分析は、ビジネスアナリストがステークホルダーと協力して要件の優先順位付けを行い、承認、延期、または却下する要件を決定するためのツールまたは手法です。モスクワ分析は、要件を「必須要件」「推奨要件」「可能要件」「非必須要件」の4つのグループに分類する手法です。

必須要件はプロジェクトの成功に不可欠であり、譲れないものです。望ましい要件は重要ですが、プロジェクトの成功に必須ではありません。望ましい要件は望ましいですが、プロジェクトの成功に必須ではありません。望ましくない要件は、現在のプロジェクトの範囲外であるか、優先度が低いものです。

モスクワ分析は、利用可能な時間と予算内で実現可能な、最も価値が高く実現可能な要件を特定するのに役立ちます。また、利害関係者の期待を管理し、要件の優先順位に関する対立や意見の不一致を解決するのに役立ちます。SMART目標は、プロジェクトまたはプロセスの明確で測定可能な目標を定義するために使用できるツールまたは手法ですが、要件の優先順位

付けには役立ちません。SMART目標は、具体的、測定可能、達成可能、関連性があり、期限が定められています。SWOT分析は、プロジェクトまたはプロセスの強み、弱み、機会、脅威を評価するために使用できるツールまたは手法ですが、要件の優先順位付けには役立ちません。SWOT分析は、プロジェクトまたはプロセスのパフォーマンスと品質に影響を与える内部要因と外部要因を特定するのに役立ちます。タイムボックス分析は、ビジネス分析における標準的なツールまたは手法ではありませんが、プロジェクトまたはプロセス内の各タスクまたはアクティビティに一定の時間を割り当てる方法を指す場合がありますが、要件の優先順位付けには役立ちません。タイムボックス分析は、時間とリソースを効率的かつ効果的に管理するのに役立ちます。参考文献：PMIビジネス分析プロフェッショナル（PMI-PBA）試験内容概要1、15ページ；実務者のためのビジネス分析：実践ガイド2、95ページ。

質問: 111

ビジネスアナリストは、ソリューションがビジネス要件を満たしているかどうかをどのように判断すればよいでしょうか？

- A. ユーザー受け入れテストの結果を確認することで
- B. プロジェクト憲章に照らしてソリューションを評価することによって
- C. エンドユーザーとのブレインストーミングセッションを実施することで
- D. トレーサビリティマトリックスを確認することで

正解: ([正解を表示します](#))

説明

PMIのビジネス分析ガイドによると、ユーザー受け入れテストとは、ソリューションがビジネス要件を満たし、ステークホルダーのニーズと期待を満たしていることを検証・妥当性確認する手法です。ユーザー受け入れテストは通常、エンドユーザーまたはその代理人によって実施され、事前に定義された受け入れ基準に照らしてソリューションを評価し、その機能性、ユーザビリティ、パフォーマンス、品質などに関するフィードバックを提供します。ユーザー受け入れテストは、ソリューションが意図したビジネス価値とメリットを提供し、ステークホルダーの満足度を満たすか、それを超えていることを実証できるため、ソリューションがビジネス要件を満たしているかどうかを判断するのに役立ちます。ビジネスアナリストは、ユーザー受け入れテストの結果をレビューすることで、ソリューションがビジネス要件をどの程度満たしているかを評価し、対処または解決が必要なギャップや課題を特定できます。プロジェクト憲章に照らしてソリューションを評価する、エンドユーザーとのブレインストーミングセッションを実施する、トレーサビリティマトリックスをレビューするといった方法も、要件を分析・妥当性確認する他の方法ですが、これらは実際の状況やシミュレーション環境でソリューションをテストまたは評価するものではないため、必ずしもソリューションがビジネス要件を満たしているかどうかを判断できるわけではありません。参考資料: PMI ビジネス分析ガイド、317 ~ 318 ページ。

質問: 112

プロジェクト ソリューションの検証中に、ビジネス アナリストは要件が変更されたことを発見します。

会社のロゴはウィンドウの左上隅ではなく、右上隅に表示されます。ビジネスアナリストが開発者に変更について尋ねると、開発者は関係者の1人が直接変更を依頼したと答えます。

ビジネスアナリストはどのような正しいアクションを取るべきでしょうか？

- A. 変更を要求した利害関係者と対峙します。
- B. ビジネス分析計画で定義された変更管理プロセスに従います。
- C. 次回のステークホルダー会議で変更について話し合います。
- D. 開発者に、要件に従ってロゴを修正するよう依頼します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

質問: 113

ユーザー受け入れテストでソフトウェアの欠陥が特定されました。ビジネスアナリストは、根本原因分析の一環として、この不一致を分析し解決するために次に何をすべきでしょうか？

- A. インターフェース分析を作成する
- B. Delphi 推定を作成します。
- C. 機能分解を作成します。
- D. 特性要因図を作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照:

参考: http://www.itqb.org/sites/default/files/glossary/ISTQB_glossary_CTELITP_v3.01%28EN%29.pdf

質問: 114

ビジネスアナリストは要件管理計画を策定しており、ステークホルダーがニーズを明確に表現しにくい複雑なプロジェクトに対処する方法を定義する必要があります。要件リスクを最小限に抑えるには、どの方法が最適ですか？

- A. アンケート
- B. グループによる意思決定
- C. ステークホルダー分析
- D. プロトタイピング

正解: A ([コメントを发表する](#))

プロトタイピングとは、ソリューションの簡略版または部分版を作成し、ステークホルダーからのフィードバックを引き出す手法です。プロトタイピングは、ソリューションを視覚的かつインタラクティブに表現することで、ビジネスアナリストが、ニーズを明確に表現することが難しいステークホルダーと複雑なプロジェクトに取り組むのに役立ちます。また、プロトタイピングは、要件の妥当性確認、ギャップやエラーの特定、曖昧さや矛盾の解決を通じて、要件リスクの軽減にも役立ちます。参考文献 :PMI Professional in Business Analysis (PMI-PBA)試

験内容概要 2019年)、12ページ ;Business Analysis for Practitioners: A Practice Guide 2015年)、69ページ。

質問: 115

開発段階にあるプロジェクトに、新しいビジネスアナリストが就任しました。プロジェクトマネージャーは要件の進捗状況の最新情報を求めています。

ビジネスアナリストはステータスを伝えるために何を使用すべきでしょうか？

- A. ビジネス分析計画
- B. トレーサビリティマトリックス
- C. プロジェクト憲章
- D. コミュニケーション計画

正解: **B** ([コメントを発表する](#))

トレーサビリティと監視ドメインには、要件のライフサイクルの管理に関連するアクティビティが含まれます。

このドメイン内のタスクには、要件の継続的な監視と文書化、および要件のステータスの利害関係者への伝達が含まれます。

質問: 116

適切に記述された要件ステートメントは次のどれですか？

- A. 鍋は軽量で、すぐに温まるものでなければなりません。
- B. 鍋はオープンでもコンロでも使用可能です。
- C. ポットは、黄色、赤、茶色、青の色で製造されます。
- D. ポットには会社のブランドが目立つように表示される必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

適切に記述された要件定義は、明確、簡潔、一貫性があり、網羅的で、テスト可能であるべきです。製品またはサービスが何をすべきかを明確に規定するべきであり、どのようにすべきかを明確に規定するべきではありません。また、ステークホルダーによって解釈が異なる可能性のある曖昧な言葉の使用は避けるべきです。4つの選択肢のうち、これらの基準を満たすのは選択肢Cのみです。選択肢Cは、鍋の属性（色とその属性の可能な値（黄色、赤、茶、青）を明確かつ正確に定義しているため、適切に記述された要件定義です。また、要件定義の標準的な用語と形式に準拠しており、検査や測定によって検証できるため、網羅的でテスト可能です。選択肢Aは、「軽量」や「すぐに温まる」といった曖昧で曖昧な言葉を使用しているため、適切に記述された要件定義ではありません。これらの言葉は、鍋の重量や加熱時間に関する正確かつ測定可能な基準を規定しておらず、ステークホルダーによって異なる意味を持つ可能性があります。選択肢Bは、鍋をオープンやコンロで利用できる条件や制約が明記されていないため、適切に記述された要件記述ではありません。例えば、鍋が耐えられる最高温度や時間、鍋を使用できるオープンやコンロの種類が明記されていません。選択肢Dは、鍋自体の要件ではなく、企業ブランドの要件を明記しているため、適切に記述された要件記述ではありません。企業ブランドは鍋の特徴や機能ではなく、マーケティング戦略またはブランディング戦略です。要件

記述は、企業のイメージや評判ではなく、鍋の特性と機能に焦点を当てるべきです。参考資料 :PMIビジネス分析プロフェッショナル (PMI-PBA) 試験内容概要、PMIビジネス分析ガイド2、実践者のためのビジネス分析：実践ガイド3、優れた要件記述方法（例付き） - TestLodge ブログ

有効的な**PMI-PBA**問題集はJPNTest.com提供され、**PMI-PBA**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**PMI-PBA**試験問題集を提供します。JPNTest.com PMI-PBA試験問題集はもう更新されました。ここで**PMI-PBA**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/PMI-PBA-mondaishu>

202問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」